

BX

文化シャッター

STEEL DOOR series

スチールドア シリーズ

PD/SD/SDT-DB35/SDT-DB40/SDT-M35/

SDS/SDO/SDS-TS/EDP・SDP/

アクアード/関連商品



時代に応える信頼のDOOR

大きく未来に向け成長を続ける都市。

さまざまな人々が集い、働く、アクティブなライフステージ。

そこにはいつも人の往来を見守るいくつものドアがある。

文化シヤッターは皆様のニーズ・時代に対して、高い水準で応える製品を幅広くご用意し、都市生活の快適環境の創造をサポートします。



INDEX

PD series	鋼製軽量ドア	5
-----------	--------	---

SD series	標準スチールドア	15
-----------	----------	----

SDT-DB35・SDT-DB40・ SDT-M35 series	ハイクレード遮音ドア	21
--------------------------------------	------------	----

SDS series	遮煙SDドア	25
------------	--------	----

SDO series	遮煙SD折れ戸	31
------------	---------	----

SDS-TS series	遮煙SD開き戸・折れ戸	35
---------------	-------------	----

EDP・SDP series	標準型鋼製軽量建具・標準型鋼製建具	41
----------------	-------------------	----

止水ドア アクアード		47
------------	--	----

関連商品		49
------	--	----

関連性能資料		51
--------	--	----

スチールドアシリーズの特長

1. 防火戸としての役割

防火戸とは？

オフィスやマンション・公共施設・商業施設・学校などでよく目にする防火戸。建物内の火災の拡大を防ぐ目的（内部開口部）や、避難経路を確保する目的と、外部からの延焼および、外部への延焼を防ぐために用いられる（外壁開口部）、私たちの命を守るために重要な設備です。建築基準法、告示などで詳細に構造・方法が規定されています。文化シャッターでは、さまざまな開口部に適した防火戸を数多くご用意しております。

防火戸の種類

特定防火設備

遮炎時間：60分（75分、90分）

火災拡大を防止するため、防災区画に用いる防火戸と、階段室などに設け、炎と煙を遮り避難経路を確保する目的の防火戸があります。

防火設備

遮炎時間：20分（10分、30分）

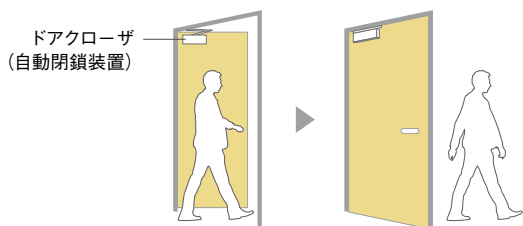
主として、開口部の延焼防止を目的として、防火区画の一部や外壁の開口部などに用いられています。

特定防火設備の種類

【常時閉鎖型防火戸】

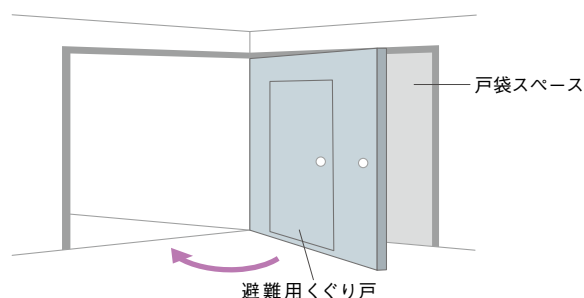
手動で開けない限りは常に閉められている状態の防火戸です。

手で開けて通り、自動的に閉まります。



【随時閉鎖型防火戸】

普段は開いており、炎や煙を感知して自動的に閉まる防火戸です。



2. 現場の要望に応じてさまざまな用途で

防火区画で用いる防火戸

Ⓐ 縦穴区画

（階段・エスカレーター・エレベーター・吹き抜けなど）

縦穴区画に用いる特定防火設備または防火設備は火災により煙が発生した場合、熱・煙感知器と連動して自動的に閉鎖し、かつ避難上および防火上に支障のない遮煙性能を有しなければなりません。

Ⓑ 異種用途区画

（同じフロアにある用途の異なる空間を区画する）

異種用途区画に用いる特定防火設備は火災により煙が発生した場合、熱・煙感知器と連動して自動的に閉鎖し、かつ避難上および防火上に支障のない遮煙性能を有しなければなりません。

Ⓒ 面積区画

（一定の床面積ごとに区画する）

火災により煙が発生した場合または火災により温度が急激に上昇した場合、自動的に閉鎖しなければなりません。

オフィスビル、商業施設、医療・福祉施設、教育施設、工場など幅広い建物に使用されるスチールドアシリーズ。

そのドアが持つ役割は防火戸としてだけではなく、気密性能、遮音性能、止水性能、X線防護、意匠性に優れている、など多くの特長を持ち合わせています。

〈その他スチールドア〉



ホテルドア
シンプルなデザインと高い遮音性能により、ラグジュアリーな客室を演出



マンション玄関ドア
個性豊かなデザイン・機能で、既存のマンションから新築まであらゆるシーンに対応

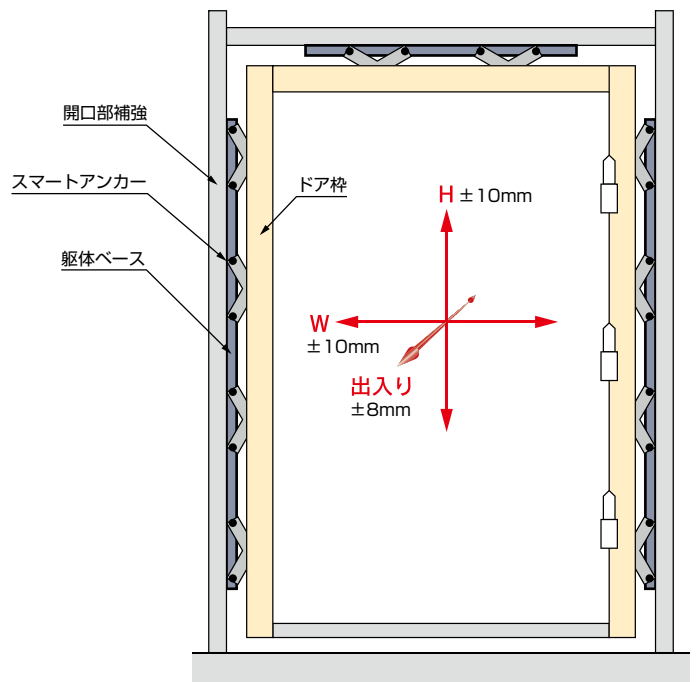
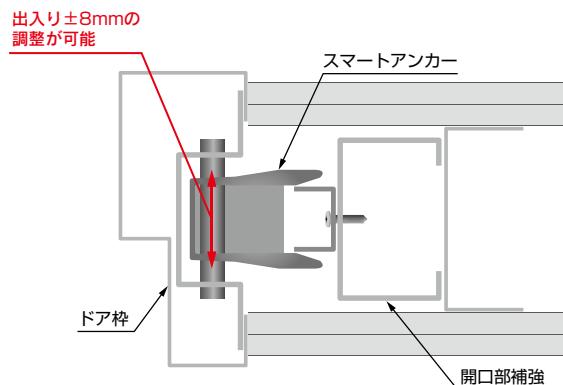
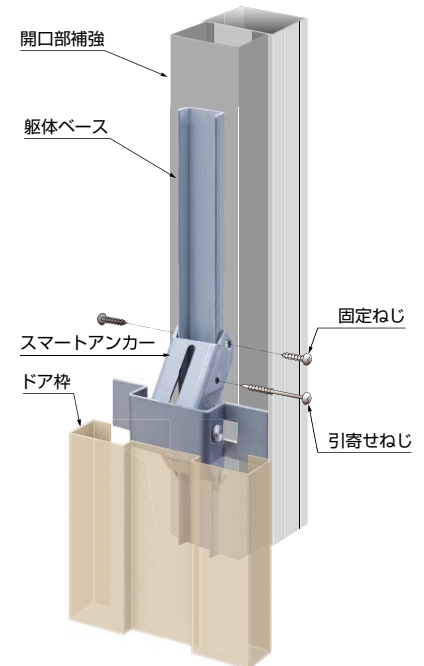
3. 火災予防を考えた無溶接施工を実現

BXオリジナル無溶接工法「スマートアンカー」

ドア枠工事の際の溶接作業における種々の環境改善(火災予防等)のため、無溶接工法による施工を実現しました。ドア枠施工の安全と迅速化を図る画期的な「スマートアンカー」工法を開発しました。

- 溶接作業を行わないため、火災予防の各種工程が不要です。
- ドア枠と開口補強にプラスマイナス10mm(リニューアル工事は25mm)の調整幅を持たせることで簡単に施工ができます。
- リニューアルにもご採用いただけます。
- 各種性能試験を行い、溶接と同等の強度を確認しています。

※右図はイメージになります。タイプにより実物が異なる場合があります。
※引寄せねじは片側からしか固定ねじが打てない場合に使用します。



JIS A 4702に規定されている各種性能試験を行い、溶接と同等の強度を確認しており安心してお使いいただけます。

- | | |
|----------|------------|
| ●開閉繰返し試験 | ●鉛直荷重強度試験 |
| ●防火試験 | ●耐風圧性試験 |
| ●ねじり強度試験 | ●面内変形追従性試験 |
| ●耐衝撃性試験 | ●地震動試験※ |

※兵庫県南部地震(阪神淡路大震災)、東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)の波形で地震動試験を行い、枠にずれなどないことを確認しています。



PD series

鋼製軽量ドア

■オーダーメイドで幅広い用途に対応

PDシリーズはオフィス・学校・ホテルなど、幅広い用途、さまざまな使用条件に対応する軽量鋼板ドアです。

■いろいろなタイプを用意

基本となる扉バリエーションは9種類、枠バリエーションは12種類、
表面材も化粧鋼板をはじめ防錆塗装仕上、焼付塗装仕上とさまざまなタイプから選択が可能です。

■公共建築工事標準仕様書に適合

一般社団法人 公共建築協会「建築材料等品質性能評価事業」における評価書を取得していますので、
公共施設をはじめとするさまざまな用途に安心してご使用いただけます。



仕様・性能・製作範囲

■ 枠仕様

名称	材 質	板厚 (mm)
上 枠 たて枠	溶融亜鉛めっき鋼板	1.6
下 枠 ちぢみ	溶融亜鉛めっき鋼板 ステンレス鋼板(HL仕上)	(2.3) 1.5(2.0)
塗 装	防錆塗装仕上 ※扉の色と近似色で塗装します。	

※ () 内寸法はオプションとなります。

■ 扉仕様

名称	材 質	板厚 (mm)	名称	材 質	板厚 (mm)
表面材	化粧鋼板 亜鉛鋼板	0.6	エッジ	ステンレス (HL仕上)	0.8
力 骨	溶融亜鉛めっき鋼板	1.6	小 窓	アルミニウム合金 溶融亜鉛めっき鋼板	
芯 材	ペーパーコア 水酸化アルミコア		ガラリ	アルミニウム合金 溶融亜鉛めっき鋼板	

■ 基本性能

機能	主な性能 (等級)	枠								扉											
		開閉方式			形状		ランマ			戸先形状		芯材					小窓		ガラリ		
		片開き	親子開き	両開き	ST枠	AT枠	無し	F I X窓 ※1	パネル ※1	内倒し窓 ※1	N型	A型	ペーパーコア	水酸化アルミコア	水酸化アルミコア+裏板 t1.2 (内部)	水酸化アルミコア+裏板 t1.2 (内部)	無機発泡コア+裏板 t1.2 (内部)	無し	有り	無し	有り
汎用	一般 (防火性能なし)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	●
防火性	特定防火設備 適合品	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	※3
	防火設備 適合品	●	●	●	●	●	●	※2	●		●	●	●	●	●	●	●	●	※2	●	※3
水密性	W-1	●				●	●				●	●	●	●	●	●	●	●		●	
気密性	A-4																				
耐風圧性	S-6	●				●	●				●	●	●	●	●	●	●	●		●	
遮音性	T-1	●				●	●				●	●	●	●				●		●	
	T-2	●				●	●				●	●		●	●			●		●	
	T-3	●				●	●				●	●				●	●			●	
断熱性	H-3	●				●	●				●	●	●	●	●	●		●		●	
	H-4	●				●	●				●	●				●	●			●	
防犯性	5分	●	●			●	●				●	●		●	●	●	●			●	

※1：AT枠は対応不可になります。

※2：防火設備 適合品の場合、スチール額縁付、網入りガラス6.8mmの使用が条件となります。

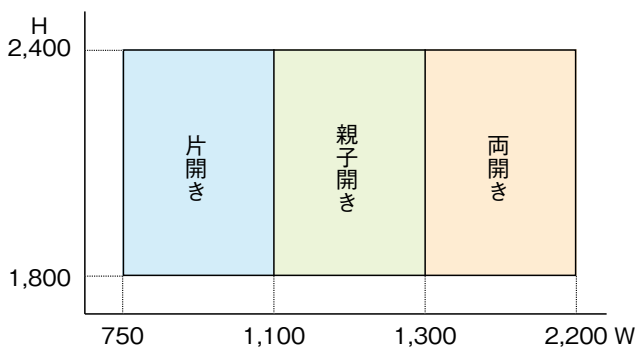
※3：ダンバーガラリ付きのドアの場合は、地域によっては常時閉鎖の条件から外れ、防火戸として認められない事例もあるので建築主事・所轄消防等へご確認ください。

このカタログのサッシ・ドアセットに示されている遮音性能はJISで定められた方法により実験室で測定した測定値です。

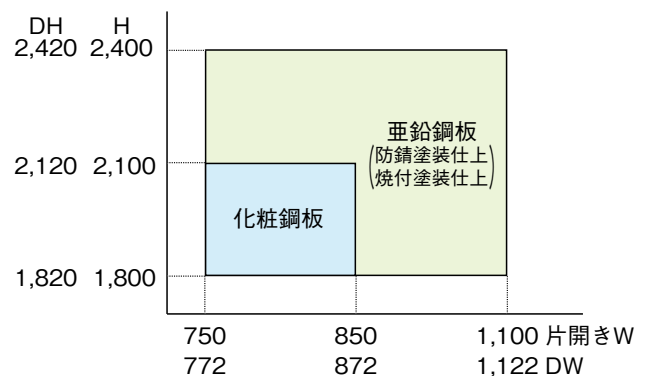
実際の建築物の現場で測定したときと実験室とは音場(※)が異なるので、両者の測定値に差異が生じます。

※音場：音波が伝わっている空間の状況を示す。

■ 枠製作範囲表 (mm)



■ 扉製作範囲表 (mm)



※子扉の場合の製作範囲はDW≧194になります。

(ドアクローザの有無によりDWの最小製作範囲は変わります。)

BX

PDシリーズ

扉バリエーション

	フラッシュ T-1	小窓付 T-2	ガラリ付 T-3	縦長小窓ガラリ付 T-4	縦長小窓付 T-4A
一般	●	●	●	●	●
防火設備	●	●	●	●	●
特定防火設備	●	—	●	—	—

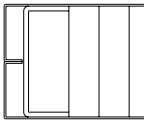
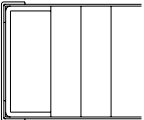
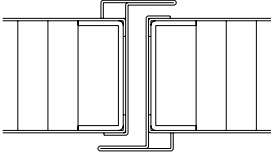
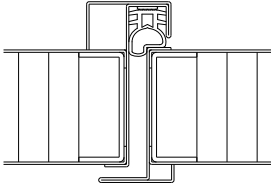
	縦長ガラリ付 T-4B	縦長小窓ガラリ一体 T-4C	小窓ガラリ付 T-5	丸窓付 T-6
一般	●	●	●	●
防火設備	●	—	●	●
特定防火設備	●	—	—	—

※防火設備 適合品で小窓を設定する場合、網入りガラス6.8mmの使用が条件となります。
 ※防火設備・特定防火設備のガラリは、防火用ガラリの使用が条件となります。

スリムフレーム除く

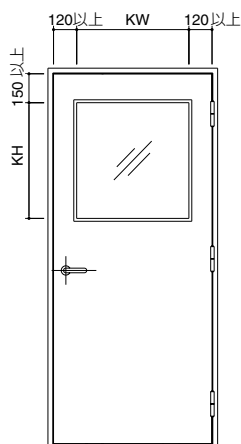
扉エッジ形状

■ 戸先の形状

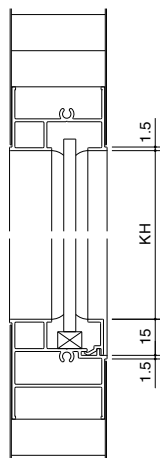
片開き		親子・両開き	
N型	A型	ST枠	AT枠
エッジ無 	エッジ付 		

小窓・ガラリー

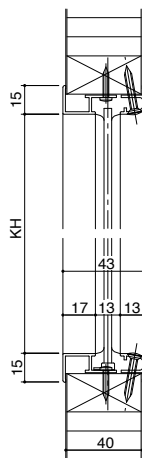
■小窓



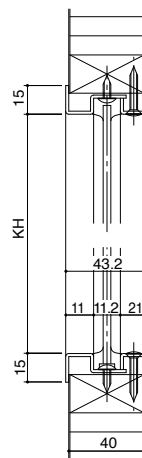
■スリムフレーム
アルミ小窓（標準）



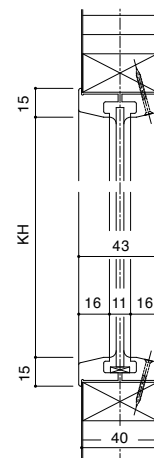
■アルミ小窓
(15mm 見付型)



■スチール小窓



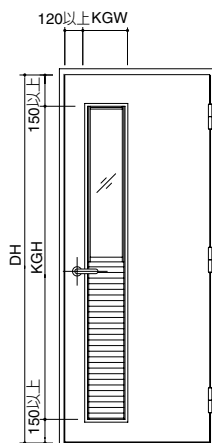
■樹脂小窓



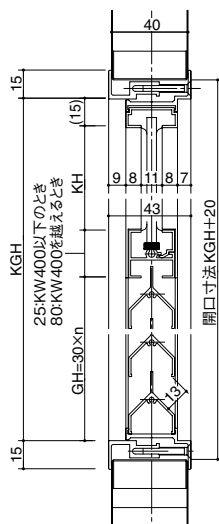
KW40mm~×KH100mm~

※他の窓やガラリとの間隔は、
W方向：60mm 以上、H方向：70mm以上の確保が必要となります。

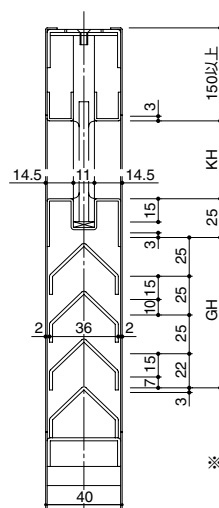
■小窓ガラリー一体型



■アルミ小窓ガラリー一体型

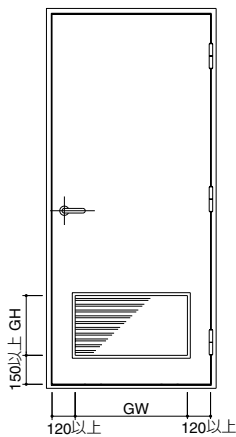


■スチール小窓ガラリー体型（内蔵タイプ）

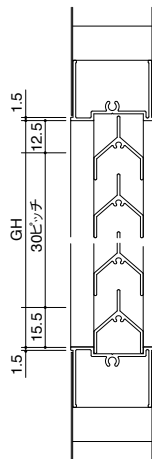


※ガラス・シーリングは当社外別途工事。
ただし特定防火設備は除く。

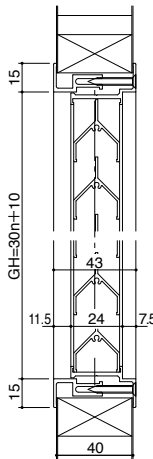
■ガラリー



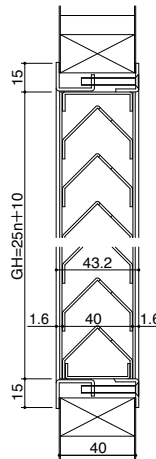
■スリムフレーム
アルミガラリ（標準）



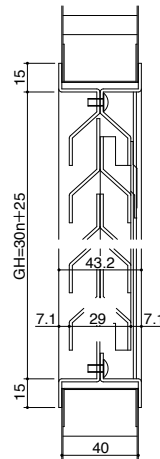
■アルミガラリ
(15mm 見付型)



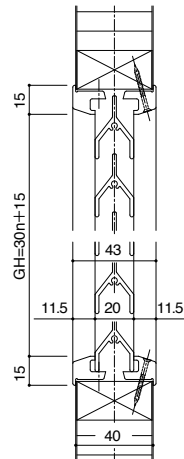
■スチールガラリー



■スチール
ダンパーガラリー



■樹脂ガラリー

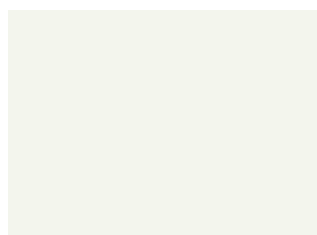


GW40mm~×GH118mm~

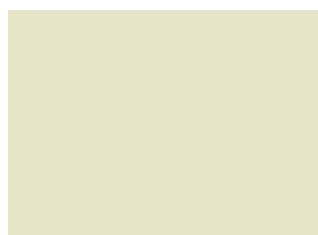
※他の窓やガラリとの間隔は、
W方向：60mm以上、H方向：70mm以上の確保が必要となります。

扉カラー

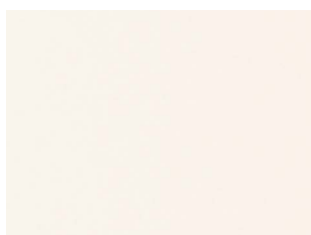
標準色



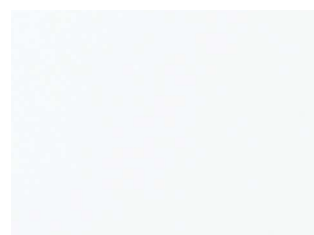
クリームホワイト
日塗工：35-85A 近似



クリーム
日塗工：25-80D 近似



スイートホワイト
日塗工：19-90B 近似



スノーホワイト
日塗工：N-90 近似

標準色



ライトバーチ
日塗工：22-80H 近似



ナチュラルバーチ
日塗工：17-60H 近似



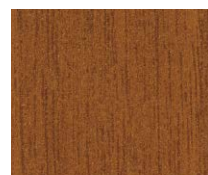
ミディアムオーク
日塗工：15-40H 近似



201アブリコットメープル
日塗工：17-60H 近似



203キャメルメープル
日塗工：17-50L 近似



ウォールナット
日塗工：15-40H 近似



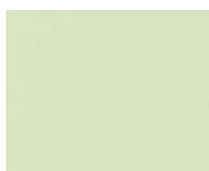
232メープルパール
日塗工：17-80H 近似



BC-21
日塗工：07-80H 近似



BC-22
日塗工：22-90H 近似



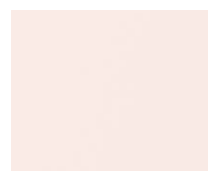
BC-23
日塗工：35-80D 近似



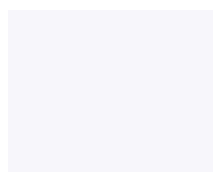
BC-24
日塗工：49-80H 近似



BC-25
日塗工：69-80H 近似



BC-26
日塗工：12-90D 近似



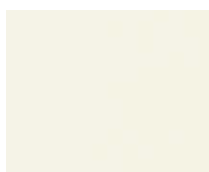
BC-27
日塗工：75-90A 近似



BC-28
日塗工：75-90A 近似



BC-29
日塗工：N-80 近似



BC-30
日塗工：25-85B 近似



BC-31
日塗工：25-80C 近似



BC-32
日塗工：27-80B 近似



BC-33
日塗工：25-75B 近似



BC-34
日塗工：22-70D 近似

※ ご希望により防錆塗装仕上・焼付塗装仕上も
製作いたします。
※ 納期等につきましてはお問い合わせください。

使用金物例

レバーハンドル錠



美和ロック
U9LA20 SV
ゴール
LX-5 B40A

本締錠



美和ロック
DA-1 SV
ゴール
LD-5 11S

ケースロック



美和ロック
U9MAD SV
U9MAD SB
ゴール
AS-5 Q11
AS-5 Q12

ホテル用レバーハンドル錠



美和ロック
U9LHHF50
ゴール
AHL-9

本締付モノロック



美和ロック
U9HMD ST
ゴール
UC-5 Q11

ホテル用ケースロック



美和ロック
U9MHHF Q12
ゴール
AS-9

ドアクローザ



パラレル付



コンシールド

リョービ
1000 シリーズ (正規付)
1000P シリーズ (パラレル付)
日本ドアーチェック製造
7000 シリーズ (正規付)
P7000 シリーズ (パラレル付)

リョービ
COU-52 (コンシールド)
日本ドアーチェック製造
CL-62N (コンシールド)

BX

■その他部品

丁番



制定品
BX-LD5

ピボットヒンジ



日本ドアーチェック製造
1C-5
11AT

通電金具



美和ロック
TEK-9C
ゴール
RCL-21

ドアガード



DL-94
シルバー
(内開き用)



DL-95
シルバー
(外開き用)

戸当り



床付
制定品
BU-10



巾木付
DC-54Z



床付
DC-46

枠バリエーション

	フラッシュ			ランマFIX			RH≦700
	片開き KN	親子開き ON	両開き RN	片開き KF	親子開き OF	両開き RF	
一般							
防火設備	●	●	●	●	●	●	
特定防火設備	●	●	●	—	—	—	

	ランマパネル			ランマ内倒し			RH250~700
	片開き KP	親子開き OP	両開き RP	片開き KU	親子開き OU	両開き RU	
一般							
防火設備	●	●	●	—	—	—	
特定防火設備	●	●	●	—	—	—	

※防火設備・ランマFIXの場合は、網入りガラス6.8mmの使用が条件となります。

枠の形状

■ ST (スタンダード) 枠

上 枠・ たて 枠	納まり	RC納まり			ボード納まり
	見込	枠見込80mm	枠見込100mm (A)	枠見込100mm (B)	枠見込350mmまで
	形状	スチール t1.6mm	スチール t1.6mm	スチール t1.6mm	スチール t1.6mm
下 枠	N	下枠なし	下枠なし	下枠なし	下枠なし
	A (コの字)				
	B (段付き)				
	C (段付き)				

■ AT (エアタイト) 枠

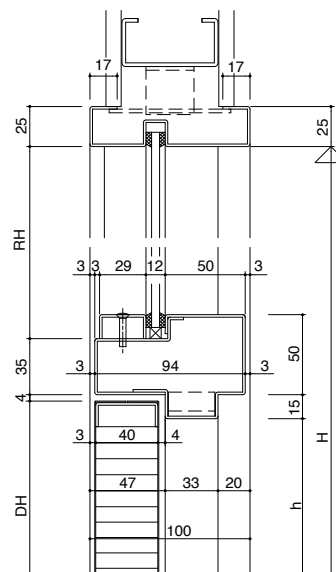
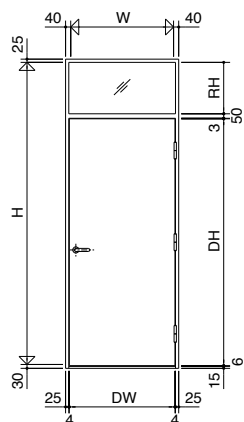
上 枠・ たて 枠	納まり	RC納まり			ボード納まり
	見込	枠見込80mm	枠見込100mm (A)	枠見込100mm (B)	枠見込350mmまで
	形状	スチール t1.6mm	スチール t1.6mm	スチール t1.6mm	スチール t1.6mm
下 枠	N	下枠なし	下枠なし	下枠なし	下枠なし
	A (コの字)				
	B (段付き)				
	C (段付き)				

※下枠がステンレスの場合、t1.5HL仕上げとなります。

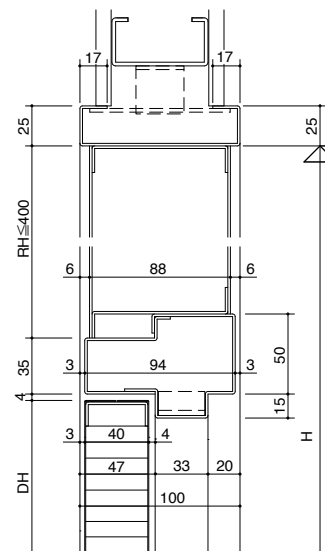
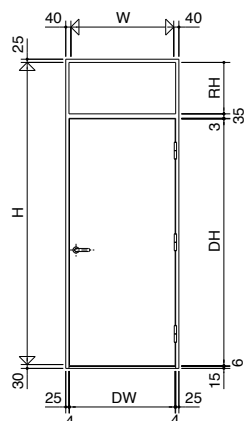
※下枠がN・Aタイプの場合、遮音・断熱性能・共通性能には対応していません。

ランマ

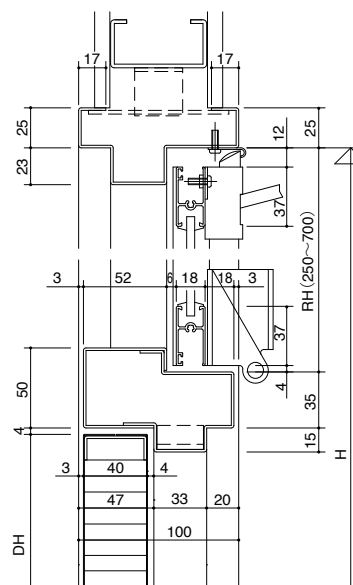
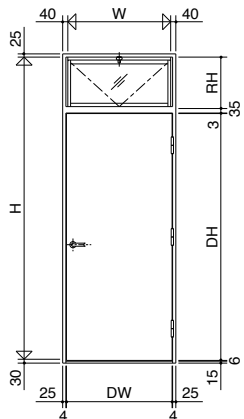
■ランマFIX



■ランマパネル



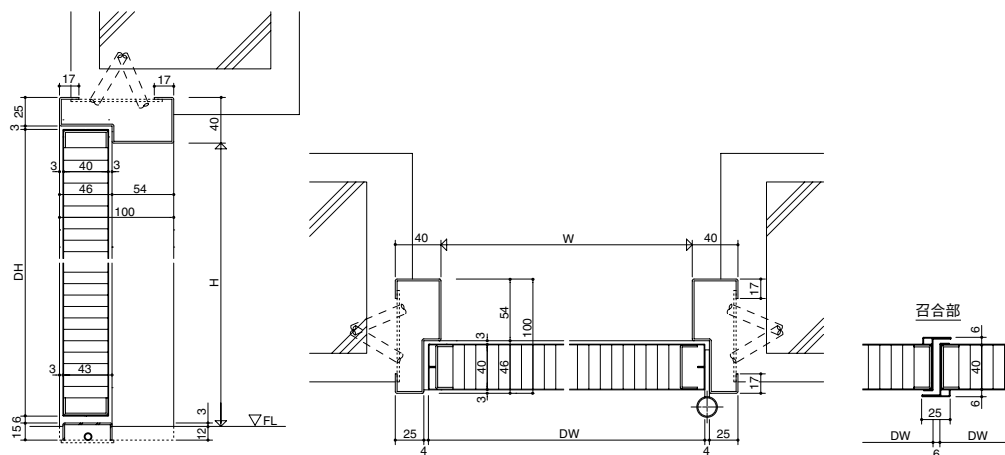
■ランマ内倒し窓



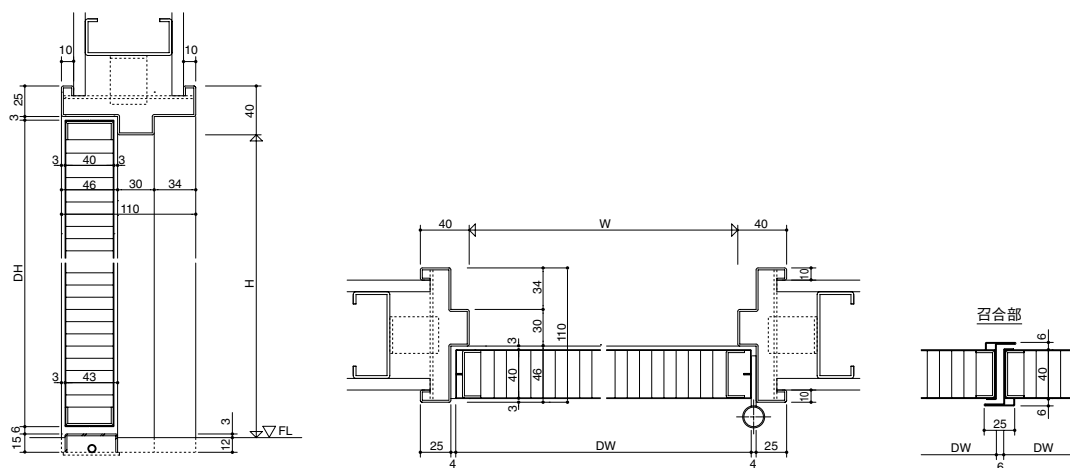
BX

PP
ス
ズ

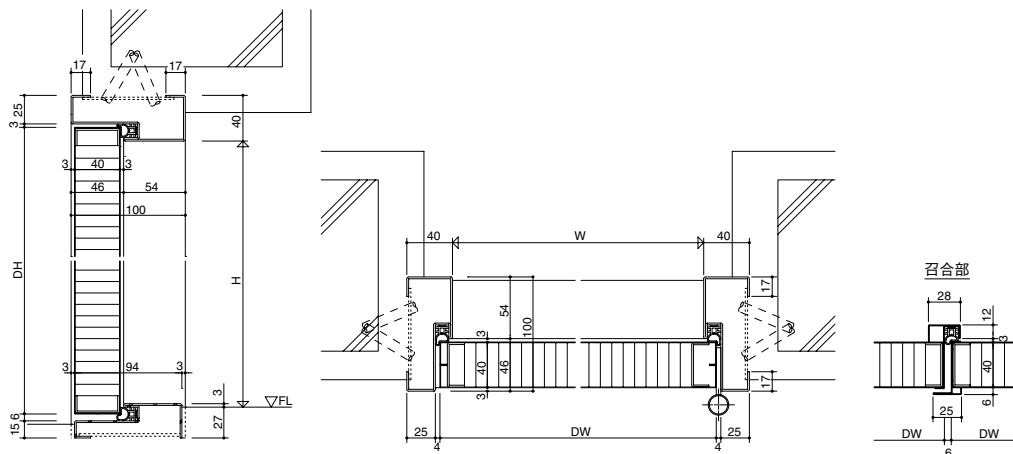
ST枠 RC納まり



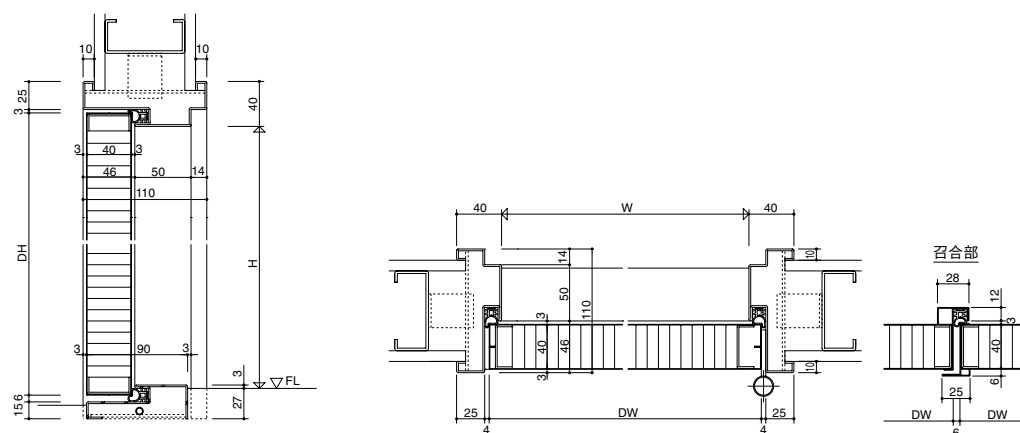
ST枠 ボード納まり



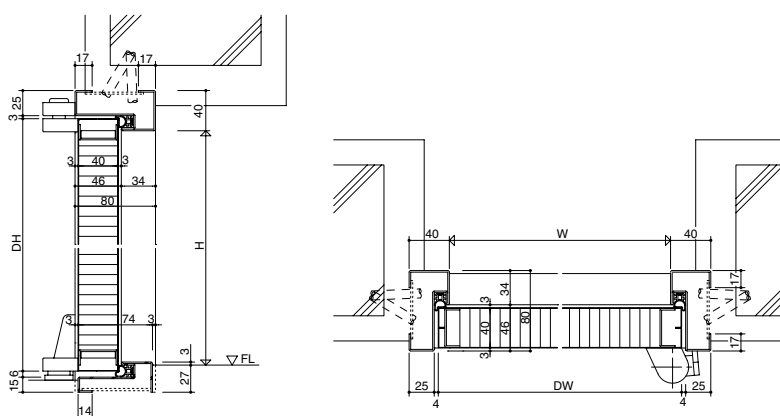
AT枠 RC納まり



AT枠 ボード納まり



AT枠 RC納まり(ピボットヒンジ)



BX

SD series

標準スチールドア

■屋内から屋外まで幅広く対応

SDシリーズ（標準スチールドア）は、表面材に1.2もしくは1.6mmの溶融亜鉛めっき鋼板を使用した一般的な内部用・外部用のオーダータイプのスチールドアです。
フラッシュ・窓付き・ガラリ付き・框タイプなど幅広く対応します。

■「建築材料等品質性能評価事業」の評価書を取得

一般社団法人 公共建築協会「建築材料等品質性能評価事業」における評価書を取得していますので
公共施設をはじめとするさまざまな用途に安心してご使用いただけます。



仕様・性能・設計範囲

仕様

名称	材 質	板厚 (mm)
枠	上 枠 たて枠	溶融亜鉛めっき鋼板
	左 摺	ステンレス鋼板
	気密ゴム	EPDM又はクロロブレンゴム
	表面仕上	防錆塗装仕上
扉	表面材	溶融亜鉛めっき鋼板
	力骨	溶融亜鉛めっき鋼板
	中骨	溶融亜鉛めっき鋼板
	小 窓 ガラリ	溶融亜鉛めっき鋼板
	表面仕上	防錆塗装仕上

設計範囲 (MAX)・金具基準

単位: mm

開き形式	扉厚	W	H	金具基準
片開き	40	1,050	1,800	旗丁番 2枚吊り
	40	1,050	2,400	旗丁番 3枚吊り
親子開き	40	1,400	1,800	旗丁番 2枚吊り
	40	1,400	2,400	旗丁番 3枚吊り
両開き	40	2,100	1,800	旗丁番 2枚吊り
	40	2,100	2,400	旗丁番 3枚吊り

※親子開きの子扉は、標準最小W300mm以上となります。

(ドアクローザの有無によりDWの最小製作範囲は変わります。)

※上表寸法を超えるドアサイズの場合は、弊社担当までご相談ください。

基本性能

機能	主な性能	枠											扉							
		開閉方式			形状		ランマ			充填材			充填材			小窓		ガラリ		
		片開き	親子開き	両開き	S T 枠	A T 枠	無し	F I X 窓 ※5	パ ネ ル ※5	内倒し窓 ※5	無し	グ ラ ス ウ ール	ロ ッ ク ウ ール	無し	グ ラ ス ウ ール ※4	ロ ッ ク ウ ール ※4	無し	有り	無し	有り
汎用	一般 (防火性なし)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
防火性	防火設備 適合品	●	●	●	●	●	●	※6	●		●	●	●	●	●	●	●	※1	●	※2
	特定防火設備 適合品	●	●	●	●	●	●		●		●	●	●	●	●	●	●		●	※2
水密性	W-1	●	●	●		●	●							●	●	●				
気密性	A-3	●	●	●		●	●							●	●	●				
耐風圧性	S-6	●	※3	※3		●	●							●	●	●				
遮音性 ※7	T-1	●	●	●		●	●							●						
	T-2	●	●	●		●	●								●	●				
断熱性 ※7	H-3	●	●	●		●	●							●	●	●				

※1 防火設備適合品の場合、網入りガラス6.8mmの使用が条件となります。※2 ダンバーガラリ付きのドアの場合は、地域によっては常時閉鎖の条件から外れ、防火戸として認められない事例もあるので建築主事・所轄消防等へご確認ください。※3 正圧の場合。※4 充填材の種類は当社指定の物とする。※5 AT枠は対応不可になります。※6 防火設備適合品の場合、スチール額縁付、網入りガラス6.8mmの使用が条件となります。※7 扉の表面材が1.6mmの場合です。

オプション

防犯性能の高い建物部品 (SD-BA)

昨今の侵入窃盗 (強盗) 事件の増加は、大きな社会問題としてクローズアップされています。この侵入窃盗に対する防犯対策の一部として防犯性能の高い建物部品の早急な開発が強く求められることになり、平成14年11月に警察庁、関係省庁、関係民間団体による官民合同会議が設置されました。

同会議では実際の犯罪手口を踏まえた攻撃方法について試験を実施し、侵入者の侵入を5分以上防ぐ性能を有するものを「防犯性能の高い建物部品」として公表しています。

弊社では、スチールドアにおいても建物の外部に面するドアや出入口として使用するドアには防犯性能の高い建物部品 (SD-BA) をおすすめします。



型 式	片開き DB-1	片開き DB-2	親子・両開き DB-3	片開き DB-4	親子・両開き DB-5	片開き・袖FIX DB-18
姿 図						
構造仕様	両面1.6mm以上溶接構造	両面1.6mm以上溶接構造	両面1.6mm以上溶接構造	両面1.6mm以上溶接構造	両面1.6mm以上溶接構造	両面1.6mm以上溶接構造
枠部補強	あり	あり	—	あり	—	あり
錠 前	主 錠	標準デッド錠	鎌デッド錠	鎌デッド錠	標準デッド錠	標準デッド錠
	補助錠	—	—	—	鎌デッド錠	鎌デッド錠

※防犯建物部品であるCP錠及び防犯ガラスの使用が条件となります。

BX

SDシリーズ

扉バリエーション

	フラッシュドア	腰フラッシュドア	縦スリットドア	ガラリ付フラッシュドア	ガラリ付腰フラッシュドア	框ドア
片開き						
親子開き						
両開き						

※上記以外の形状については、弊社担当者までお問い合わせください。

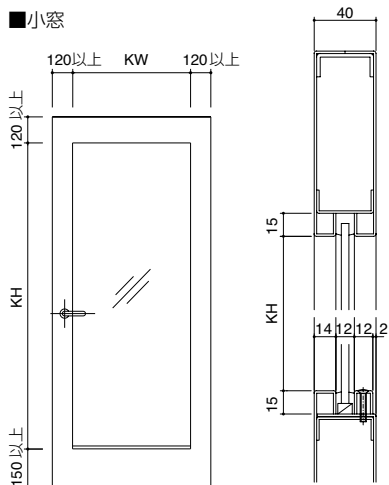
※特定防火設備(例示仕様)の場合は、小窓は取り付けられません。

※防火設備(例示)で小窓を設定する場合、スチール小窓、網入りガラス6.8mmの使用が条件となります。

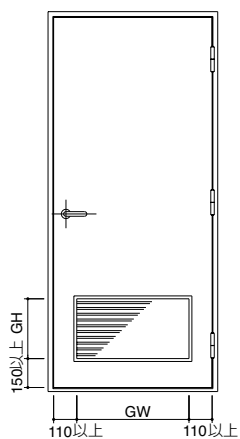
また、ガラリを設定する場合は、スチールダンパーガラリの使用が条件となります。

小窓・ガラリ

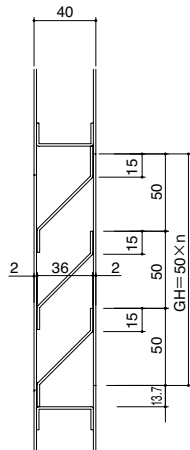
■小窓



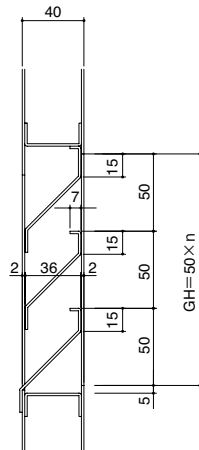
■ガラリ



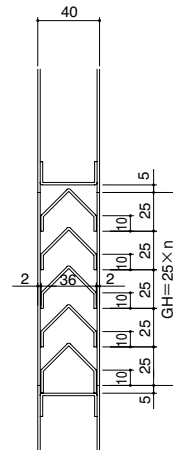
■片流れガラリ (内部用)



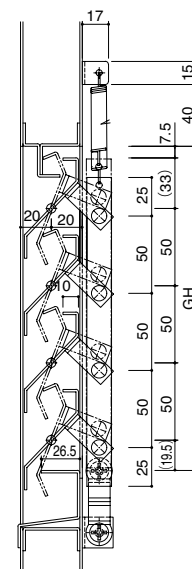
■片流れガラリ (外部用)















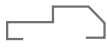









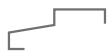
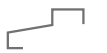


■山型ガラリ



■可動ガラリ



枠バリエーション

			一般枠（ST枠）		エアタイト枠（AT枠）	
枠見込			100～350mm		100～350mm	
内部用	上枠・たて枠					
	沓摺	A (コの字)				
		B (段付き)				
		C (段付き)				
外部用	上 枠					
	たて枠					
	下 枠 (段付き)					

使用金物例

レバーハンドル錠



美和ロック
LAシリーズ
ゴール
LXシリーズ
LGシリーズ

本締付モノロック



美和ロック
HMシリーズ
ゴール
UCシリーズ

BX

ケースハンドル錠



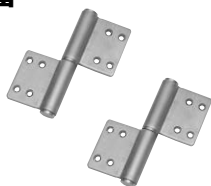
美和ロック
MACC
ゴール
ASC

本締錠



美和ロック
DAシリーズ
ゴール
LDシリーズ

丁番



ピボットヒンジ



ドアクローザ



戸当り

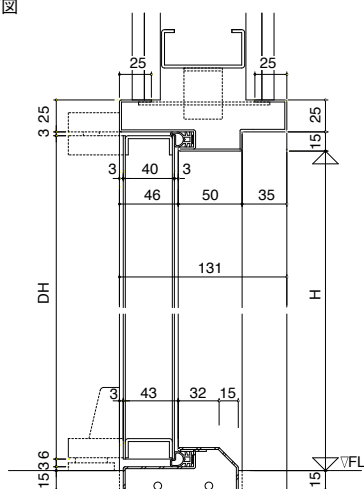


床付

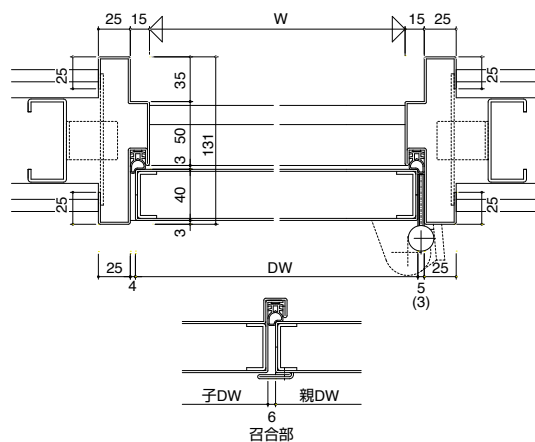
巾木付

SDシリーズ

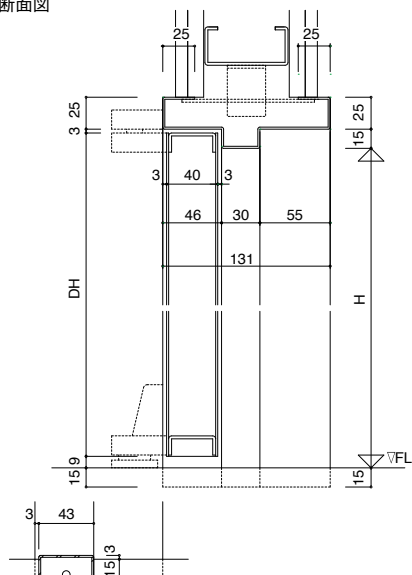
縦断面図



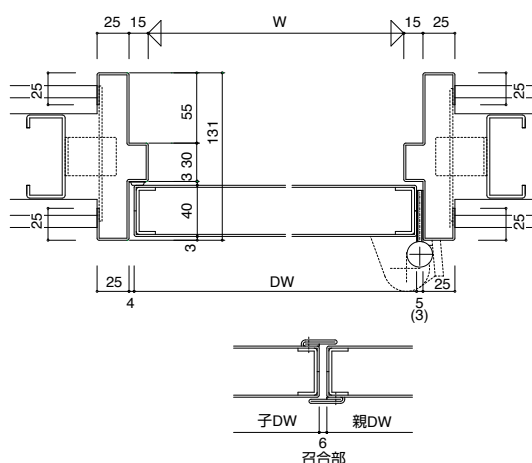
横断面図



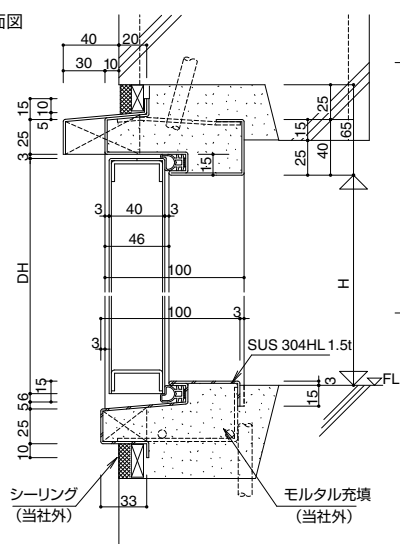
縦断面図



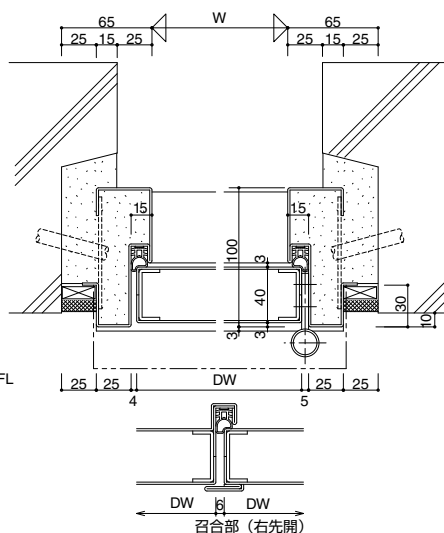
横断面図



縦断面図



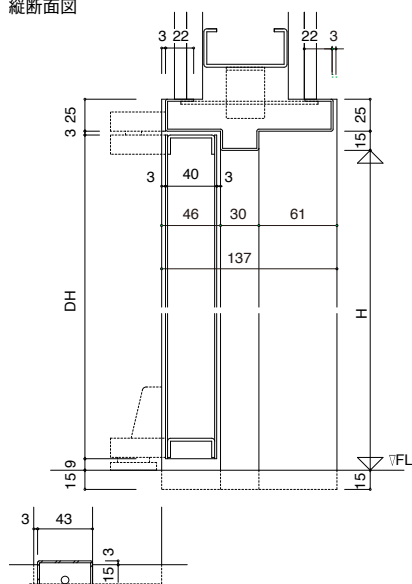
横断面図



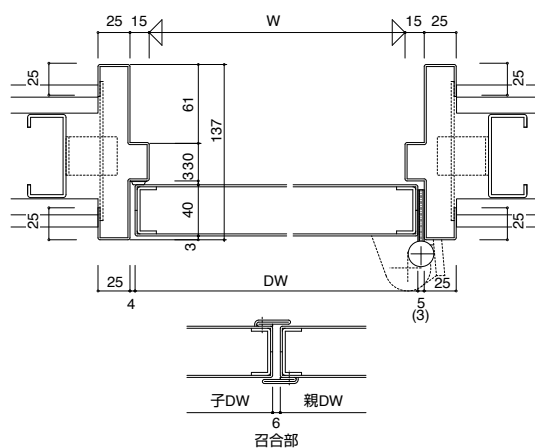
※() 内寸法はピボットヒンジの場合を示す。

面落ち枠納まり(内部用)

縦断面図

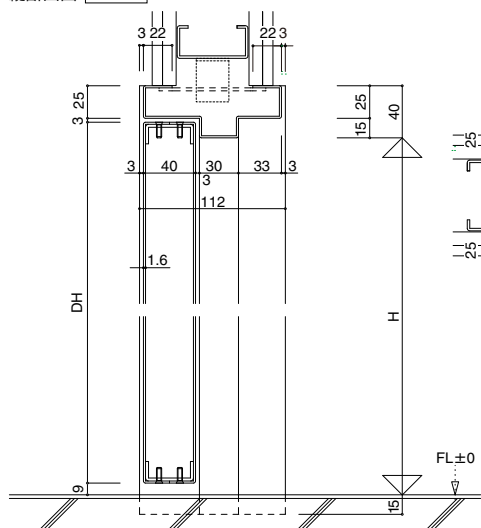


横断面図

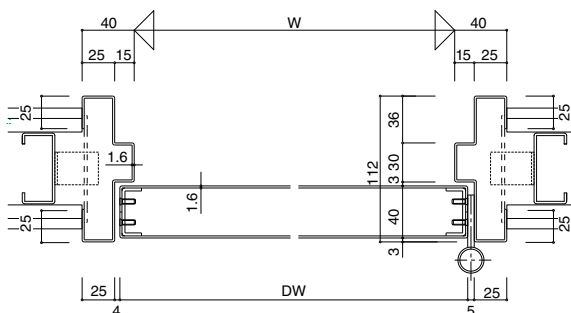


ねじ止め仕様(内部用)／ST・AT 納まり(外部用)

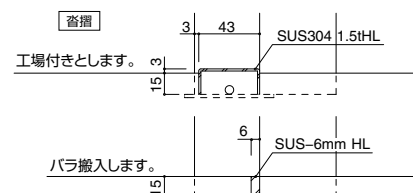
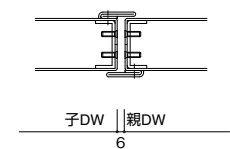
縦断面図 片開き



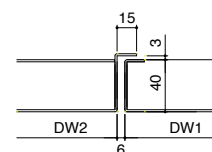
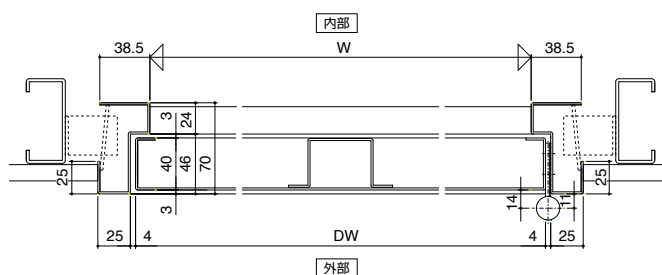
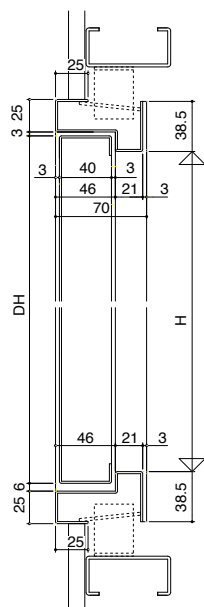
横断面図



召合部 親子開き 両開き



点検口



SDT-DB35・SDT-DB40・ SDT-M35 series (屋内用・屋外用)

ハイグレード遮音ドア

■高い遮音性を実現しています

- ・日常的に使いやすいレバーハンドル錠で T-4 等級の高い遮音性を実現しました。
- ・段差の少ない三方枠でも高い遮音性を実現し、性能はそのままに通行はスムーズです。

主な用途

- 音響スタジオ、音楽室 ■放送室、音響調整室 ■機械室、電気室 ■劇場、ホール ■役員室、会議室 ■ホテル宴会場
■ホテル客室(コネクティングルーム含む)



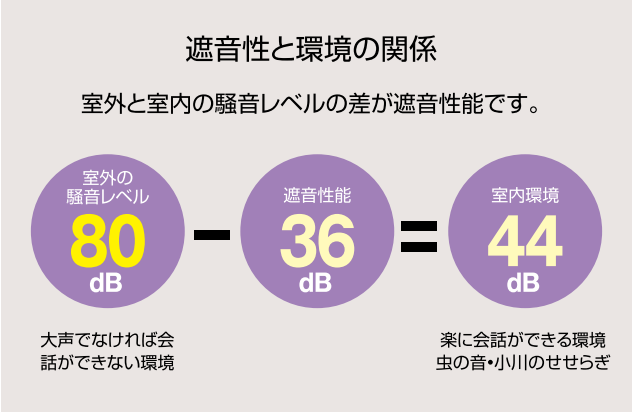
製品バリエーション

型式	特長	遮音性	枠の形状	開閉方式
SDT-DB35 (AT-ゴムタイプ)	文化シャッター独自の扉構造で 高い遮音性を実現	T-3	三方AT枠 四方AT枠	片開き 親子開き 両開き
SDT-DB40 (AT-ゴムタイプ)		T-4		
SDT-M35 (マグネットゴムタイプ)	マグネットゴムにより 扉を引き寄せ遮音性を向上	T-3		

遮音とは

音が物に当たると、音の一部は反射、一部は物に吸収され、それ以外が透過音として人の耳に伝わります。「防音」とは、この透過音を小さくすることであり、その方法のひとつが「遮音」です。たとえば屋外環境が大声でなければ会話ができないような場所であっても、遮音性能を持つ壁やドアを使用することによって、会話が楽にできるくらいの室内環境を保てるようになります。このように室外から室内へ侵入する音、室内から室外へ漏れる音をどれくらい遮ることができるかを表す性能を「遮音性」といい、単位はdB(デシベル)で表します。

遮音のポイントは材質を選び、その性能を知ることと、隙間を作らないということです。



騒音レベル(dB)と室内騒音の許容量

騒音レベルdB	【許容騒音レベルdB】 室の種類
80 dB 大声でなければ会話ができない	【50～55】 レストラン 【45～55】 大事務所・銀行・商店街 【45～50】 小会議・小事務所・法廷 図書館 【35～40】 病院・映画館・公会堂・教会 アパート・ホテル・住宅 教室・講義室 【30～35】 劇場・音楽室 【25～30】 放送スタジオ、テレビスタジオ
70 dB 昼間の繁華街 少しうるさい	
60 dB 水洗トイレの音	
50 dB 楽に会話ができる 虫の音・ 小川のせせらぎ	
40 dB ひそひそ話	
30 dB 振り時計の音 仕事や勉強を 妨げない	
20 dB 蛍光灯のうなり 静かな雨音	
10 dB ほとんど無音 たいへん静か 安眠を妨げない	

設計範囲・仕様・金物

設計範囲(最大)

■SDT-DB35・SDT-DB40

開き方式	W(mm)	H(mm)
片開き	1050	2400
親子 / 両開き	2100	

■SDT-M35

開き方式	W(mm)	H(mm)
片開き	950	2400
親子 / 両開き	1900	

※避難経路への設置はW750×H1800以上確保してください。

仕様

	名称	材質	板厚(mm)
枠	上枠・たて枠	溶融亜鉛めっき鋼板	1.6
	沓摺*1	ステンレス鋼板	1.5
	充填材*2	ロックウール 80kg/m ³	-
	気密材	SDT-DB35・40 : EPDM SDT-M35 : シリコンゴム	-
扉	表面材	溶融亜鉛めっき鋼板	1.6
	力骨	溶融亜鉛めっき鋼板	2.3
	中骨	溶融亜鉛めっき鋼板	1.6以上
	充填材	SDT-DB35・40 : ロックウール 150kg/m ³	-
		SDT-M35 : ロックウール 80kg/m ³	
	下部気密材*3	SDT-DB35・40 : クロロブレンゴム	-
		SDT-M35 : シリコンゴム	
	塗装	防錆塗装	-
焼付塗装 (オプション)		-	

金物

部品	品番
レバーハンドル錠*4	美和ロック : LAシリーズ
	ゴール : LXシリーズ
吊り金物	丁番
	ピボットヒンジ
ドアクローザ	正規付
	パラレル
下部気密装置	ドアボトム、気密材

*1 沓摺はモルタル充填(別途工事)となります。

*2 ロックウール充填は上枠・たて枠のみ。
湿式の場合は、モルタル充填(別途工事)となります。

*3 扉下部気密材は三方枠タイプの場合のみ使用。

*4 レバーハンドル錠の他、ラッチ付きの彫込箱錠をご使用いただけます。

設計上の留意事項

はじめに

遮音ドアはお客様へ遮音の性能を提供する商品です。性能を維持するために一部制約が生じる場合がございます。また、最終的には空間での音響透過状況が性能評価の対象となります。ドア周辺部の遮音状況にはご配慮願います。

形状および充填物

吊元、戸先、沓摺、召合せの形状は遮音性能を左右する決定的な要素です。枠と扉の納まりを変更できませんのでご了承願います。また充填物は比重を増やしますと質量則上は有利ですが、共鳴を起こす可能性があり、不利に働く場合があります。

商品名		AT-ゴムタイプ				マグネットゴムタイプ	
		SDT-DB35		SDT-DB40		SDT-M35	
遮音性能		T - 3		T - 4		T - 3	
扉厚		40mm (50mm) *1,2		50mm (60mm) *1,2		40mm	
納まり	上枠 たて枠	 気密材：ATゴム		 気密材：ATゴム		 気密材：マグネットゴム *3	
	タイプ	三方AT枠	四方AT枠	三方AT枠	四方AT枠	三方AT枠	四方AT枠
	沓摺 扉下部	 沓摺 + ドアボトム + 下部気密材		 沓摺 + ドアボトム + 下部気密材		 沓摺 + 下部気密材	
		沓摺		沓摺		沓摺	
設置環境		屋内用	屋内用 屋外用	屋内用	屋内用 屋外用	屋内用 *3	屋内用 *3
水密性		-	W-1	-	W-2	-	W-1
気密性		A-4	A-4	A-4	A-4	A-4	A-4
耐風圧性		-	S-6	-	S-6	-	S-6
遮炎性		平成12年建設省告示第1369号に適合した例示仕様の特定防火設備です。					
遮煙性		昭和48年建設省告示第2564号に適合した例示仕様の特定防火設備です。					

*1 () 内の扉厚は、つぶし目板の場合

*2 ピボットヒンジを使用する場合、サイズによって扉厚が変わることがあります。

*3 マグネットゴムを使用しているため、屋内であっても鉄粉が舞うような場所への設置は閉鎖不良につながりますのでご注意ください。

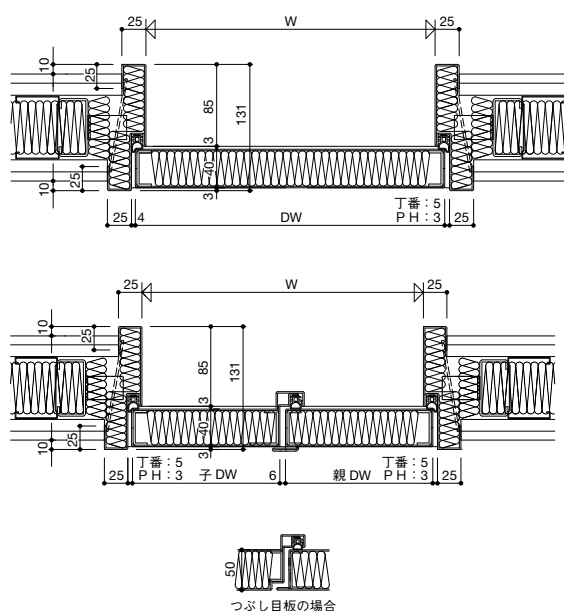
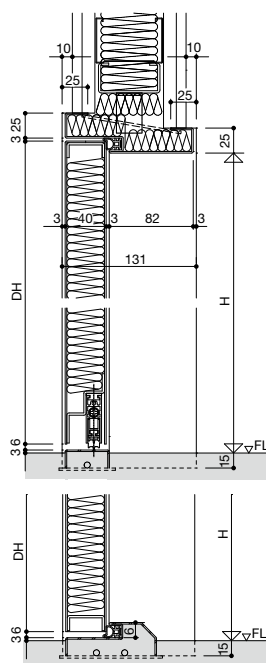
・性能はJISで定められた方法により実験室で測定した測定値です。

・遮音性能は実際の建物の現場で測定したとき、実験室とは音場*が異なるので、両者の測定値に差異が生じます。

※音場：音波の存在する空間。

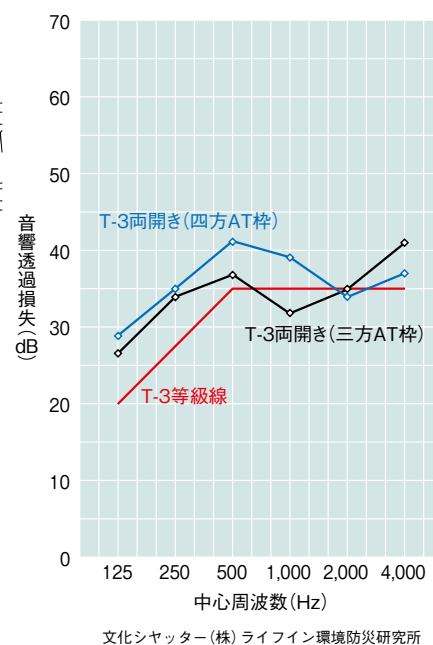
圖面

●SDT-DB35[遮音性 T-3]



試験体仕様（三方AT枠・四方AT枠共通）
サイズ：W2100 × H2400
金物：レバーハンドル錠、下番、ドアクロージャー

●透過損失試験データ



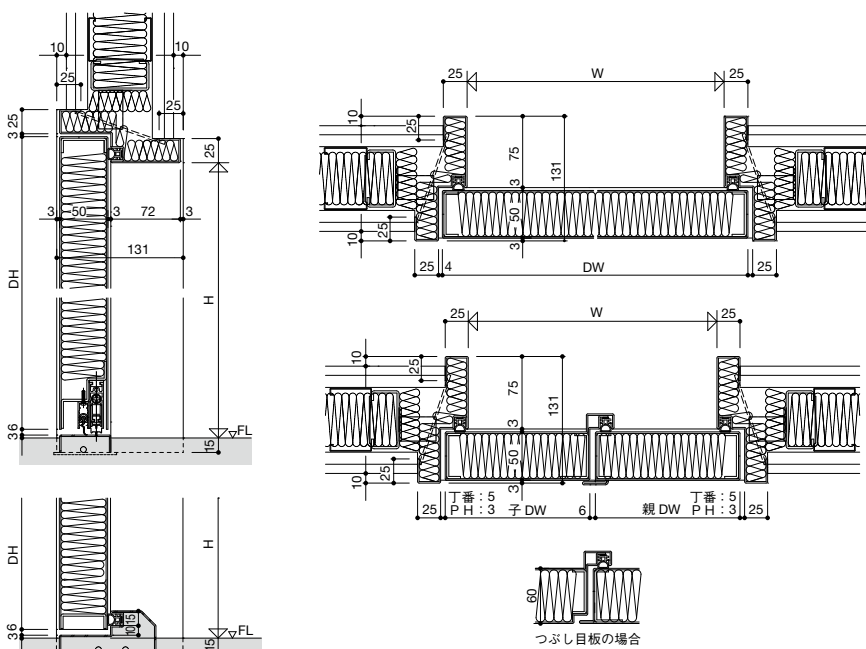
文化シヤッター(株)ライフイン環境防災研究所



当試験所は、
ISO/IEC 17025 に適合した
国際対応 (ILAC MRA)
の試験認定を取得しています。
認定範囲：防火・耐火試験
気密・水密性試験
遮音・断熱性試験

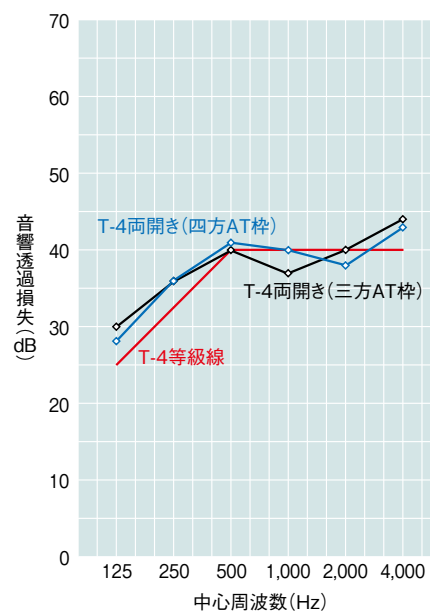
※実験室でのデータと現場では諸々の条件により異なることがありますのでご注意ください。

●SDT-DB40[遮音性 T-4]



試験体仕様（三方AT枠・四方AT枠共通）
サイズ：W2130 × H2383.5
金物：レバーハンドル錠、丁番、ドアクローザ

●透過損失試験データ



文化シャッター(株) ライフイン環境防災研究所

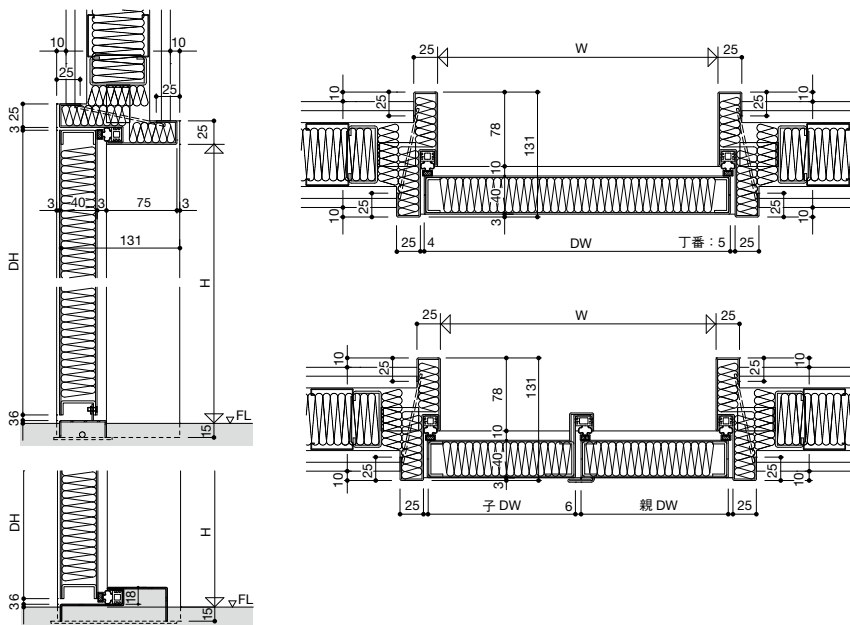


当試験所は、
ISO/IEC17025 に適合した
国際対応 (ILAC MRA)
の試験認定を取得しています。
認定範囲：防火・耐火試験
気密・水密性試験
遮音・断熱性試験

※実験室でのデータと現場では諸々の条件により異なることがありますのでご注意ください。

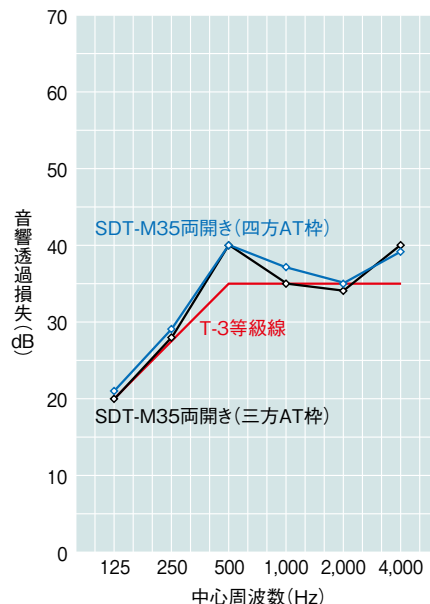
BX

●SDT-M35 [遮音性 T-3]



試験体仕様（三方AT枠・四方AT枠共通）
サイズ：W1900 × H2400
金物：レバーハンドル錠、丁番、ドアクローザ

●透過損失試験データ



(一財) 建材試験センター

※実験室でのデータと現場では諸々の条件により異なることがありますのでご注意ください。

SDS series

遮煙SDドア

■エレベーター前の防火区画に対応

SDSシリーズは一般社団法人 日本シャッター・ドア協会および一般社団法人 日本サッシ協会にて、国土交通大臣認定を取得した遮煙性能を有する鋼製開き戸です。

エレベーターホールの空間を含めて区画する場合に適用されます。

また、エレベーター直前に設置する場合も例示仕様として使用が可能です。

■階段室などの縦穴区画にも最適

火災発生時、煙突効果で煙が回る危険性がある階段室などの縦穴区画にも、遮煙性能を向上させ安全性を高めるSDSシリーズをお薦めします。

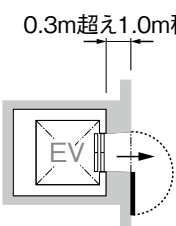
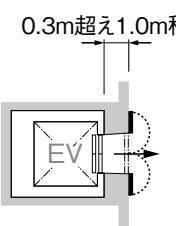
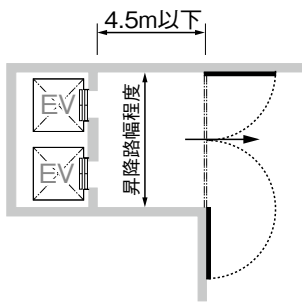
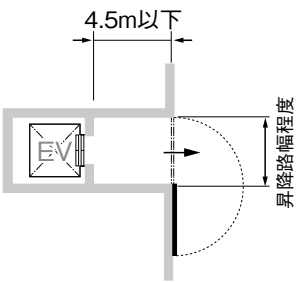
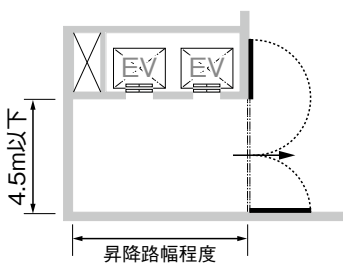
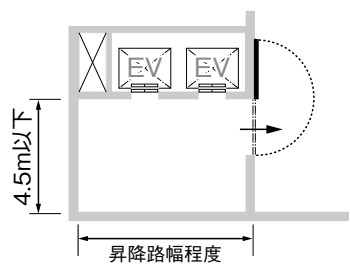
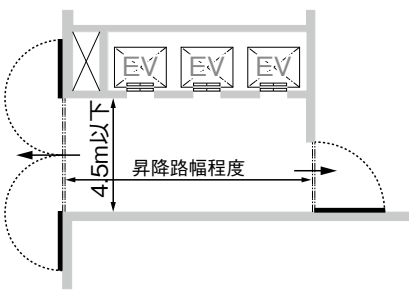
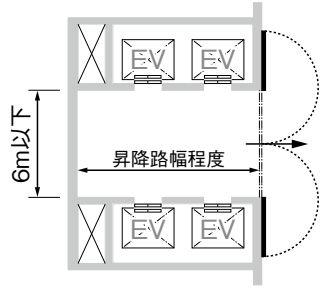
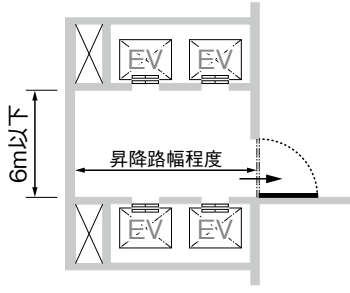
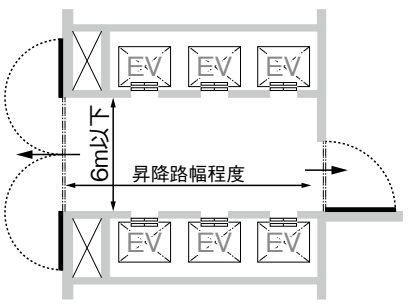
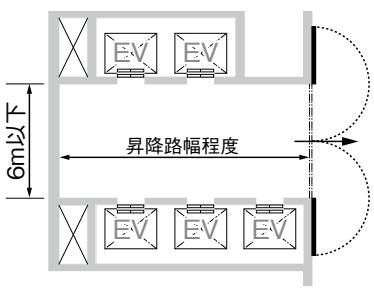
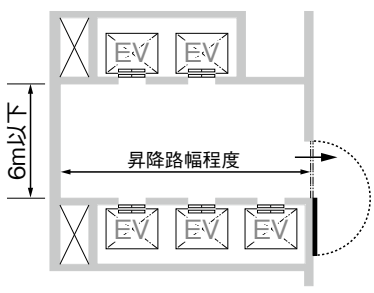
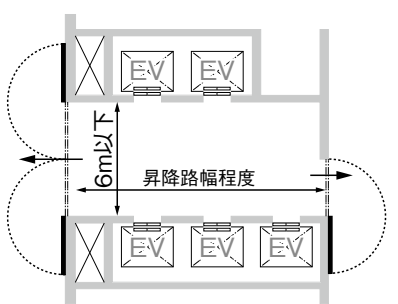


鋼製シャッター・鋼製開き戸／
複合防火設備（準耐火構造壁・床付き）

CAS-0257

平成17年改正（令）第112条対応

エレベーターホール(乗場戸前)の空間を含めての区画例

非常時に空間(乗場戸から0.3m超え)を形成する場合		乗降ロビーを設ける場合(乗場戸の正面に防火設備)	
			
乗降ロビーを設ける場合(エレベーター 一列、防火設備 片側)		乗降ロビーを設ける場合(エレベーター 一列、防火設備 両側)	
			
乗降ロビーを設ける場合(エレベーター 対面、防火設備 片側)		乗降ロビーを設ける場合(エレベーター 対面、防火設備 両側)	
			
乗降ロビーを設ける場合(エレベーター 対面2、防火設備 片側)		乗降ロビーを設ける場合(エレベーター 対面2、防火設備 両側)	
			

BX

基本仕様

名 称		材 質	板厚 (mm)
枠	上 枠 たて枠	溶融亜鉛めっき鋼板	1.6
		ステンレス鋼板	1.5
扉	表面材	溶融亜鉛めっき鋼板	1.6
		ステンレス鋼板	1.5
	力 骨	溶融亜鉛めっき鋼板	2.3
	中 骨	溶融亜鉛めっき鋼板	1.6 (2.3)

※() 寸法はオプションになります。

種 類	枠見込	扉 厚
常時閉鎖	80mm以上	40mm
随時閉鎖	100mm以上	55mm
避難口	—	40mm

●国土交通大臣認定番号


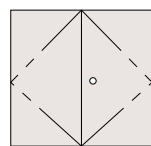
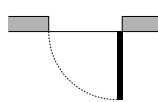
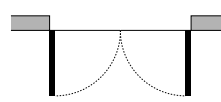
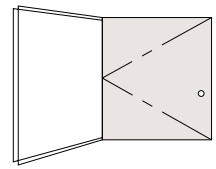
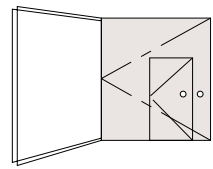
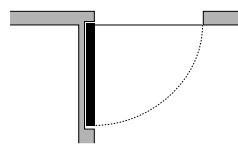
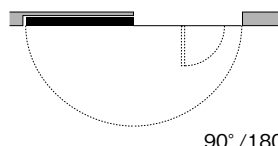
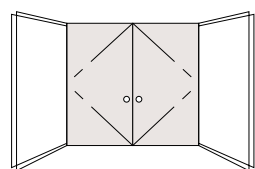
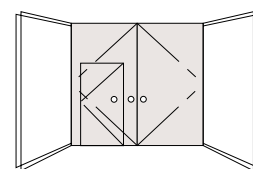
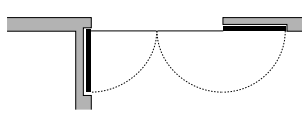
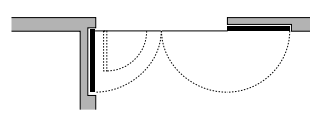
鋼製シャッター・鋼製開き戸／
複合防火設備（準耐火構造壁・床付き）

CAS-0257

平成17年改正（令）第112条対応

扉バリエーション

単位：mm

種 類			サイズ		形 式	
			W	H		
常時閉鎖	片開き		750～1,400	1,800～3,500		
	両開き		1,500～2,800	1,800～3,500		
随時閉鎖	片開き		750～1,400	2,000～3,500		
	片開き (避難口付)	下框有り	1,116～3,000	2,080～3,500		
		下框無し	1,216～3,000	2,100～3,500		
	両開き		1,500～2,800	2,000～3,500		
	両開き (避難口付)		1,900～6,000	2,000～3,500		

90° /180° 開き

90° /180° 開き

90°/180° 開き

90°/180° 開き

※両開きタイプには親子開きを含みます。
 ※随時閉鎖方式は、90°～180°開きの間で対応できます。
 ※避難口なし扉の場合は、3㎡未満となります。
 避難口は、EW750×EH1,800以上となります。

使用金物例

■常時閉鎖タイプ

レバーハンドル錠



美和ロック
LA-0 (空錠)
ゴール
LX-1 (空錠)

ケースハンドル (ラッチ付)



美和ロック
OMCC
ゴール
UCC-1

丁番



文化制成品

ピボットヒンジ



ニュースター
8C-5

ドアクローザ



ニュースター
7000シリーズ
リョービ
1000シリーズ

ドアボトム



シブタニ
DB-400

※丁番、ピボットヒンジは上記に限らず、扉重量に合わせての選定となります。

BX

■随時閉鎖タイプ

ケースハンドル (ラッチ付)



美和ロック
OMCC
ゴール
UCC-1

オートヒンジ



日東工器
オートヒンジ
ニュースター
オートパワーヒンジ
大鳥機工
オートドアヒンジ

■両開き (親子開き) タイプ

扉閉鎖順位調整器



ニュースター
SF250FTN
SF350FTN
リョービ
JC-25C
JC-35C

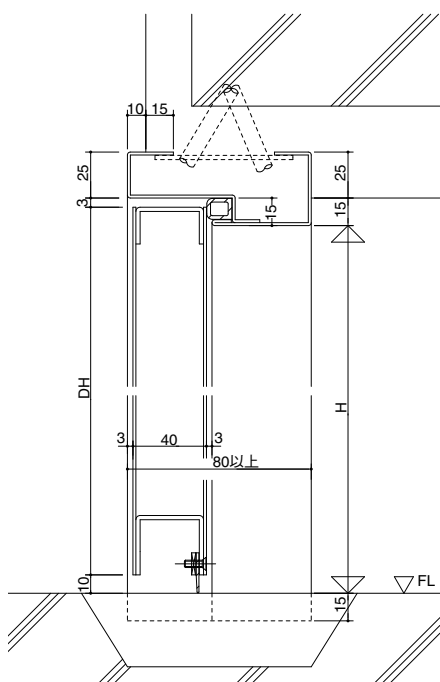
自動フランス落し



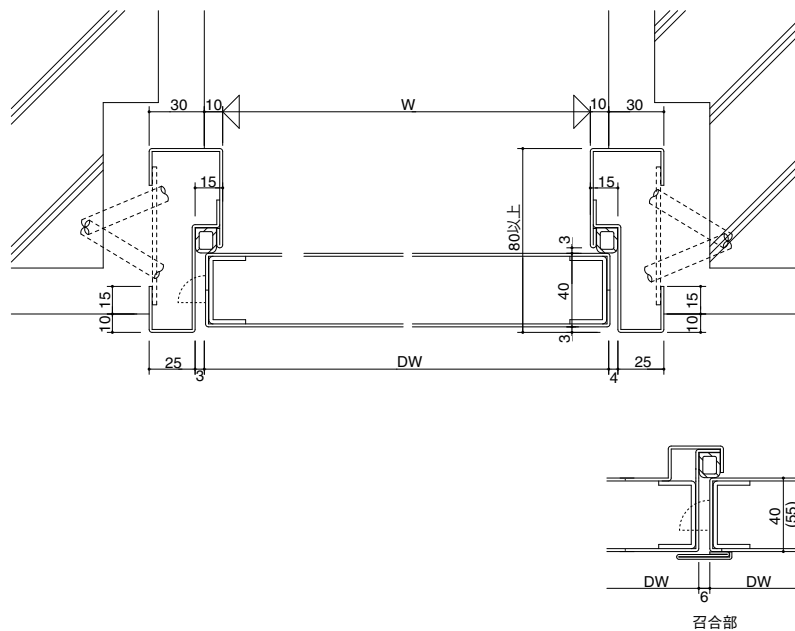
ゴール
KT-2U

SDSシリーズ

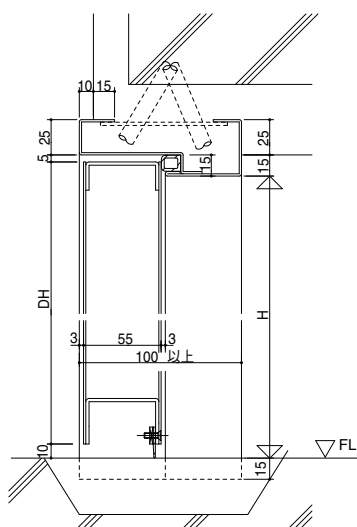
閉鎖時



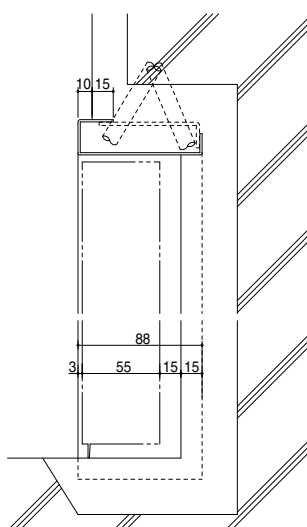
閉鎖時



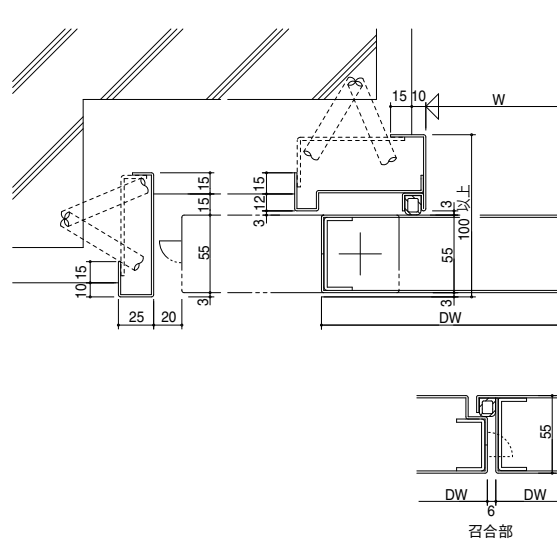
閉鎖時



開放時

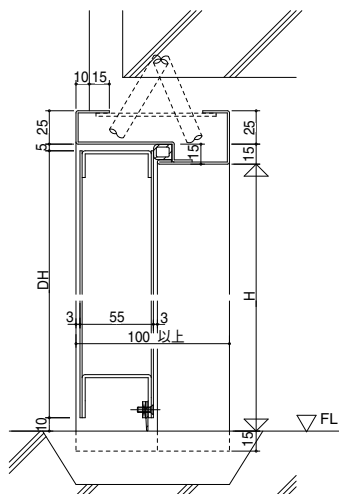


閉鎖時

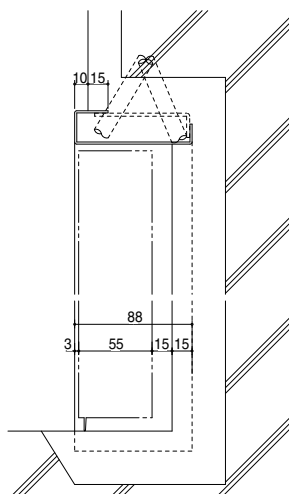


随時閉鎖（90°開き）

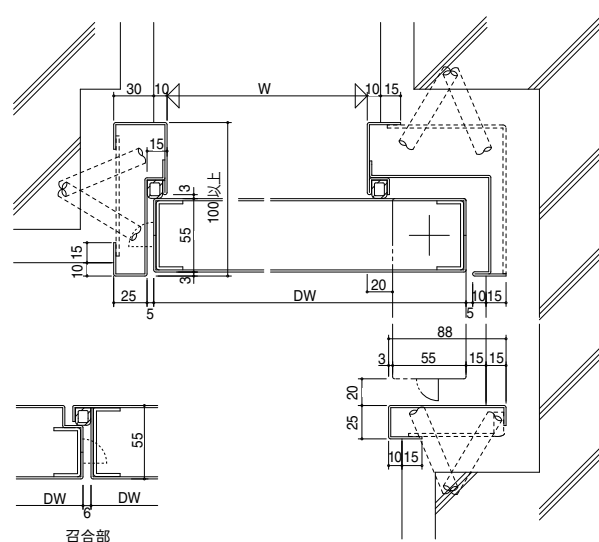
閉鎖時



開放時

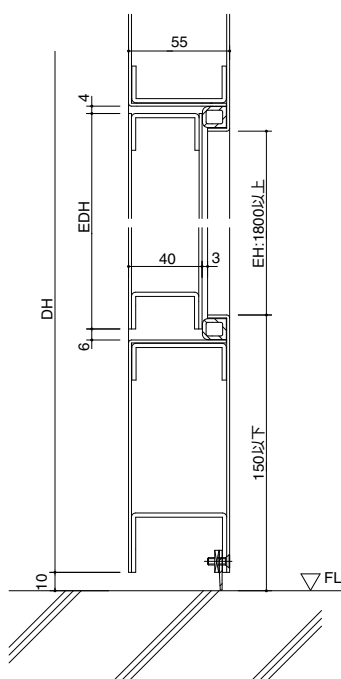


閉鎖時

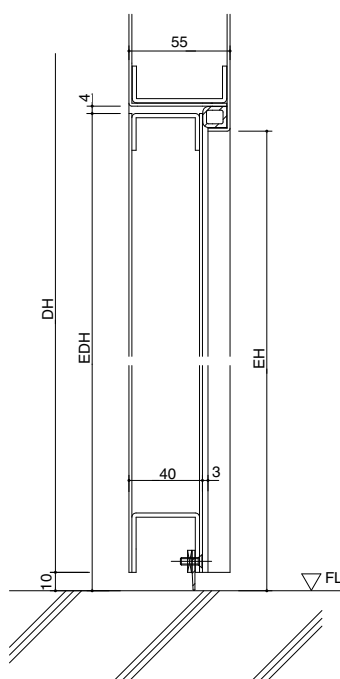


BX

避難口詳細図

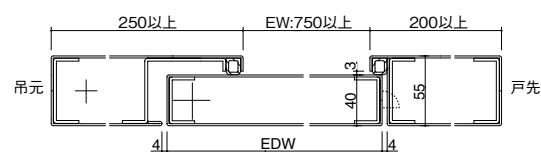


下框有り

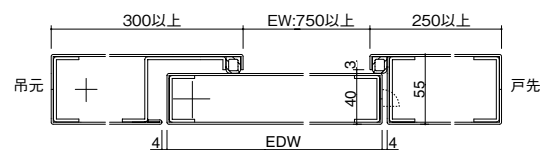


下框無し

下框有りの場合



下框無しの場合



SDSシリーズ

SDO series

遮煙SD折れ戸

■エレベーター前の防火区画に対応

SDOシリーズは一般社団法人 日本シャッター・ドア協会および一般社団法人 日本サッシ協会にて、国土交通大臣認定を取得した遮煙性能を有する鋼製折れ戸です。

エレベーターホールの空間を含めて区画する場合に適用されます。

また、エレベーター直前に設置する場合も例示仕様として使用が可能です。

■階段室などの縦穴区画にも最適

火災発生時、煙突効果で煙が回る危険性がある階段室などの縦穴区画にも、遮煙性能を向上させ安全性を高めるSDOシリーズをお薦めします。

折れ戸の構造



折れ戸 (90° 開放型)



防災信号によりリリースのフックが外れ、戸袋から90° 閉鎖します。



折れ戸が 180° 閉鎖して防火区画を形成します。

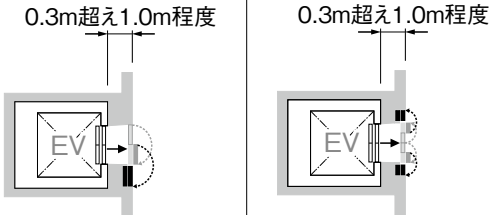
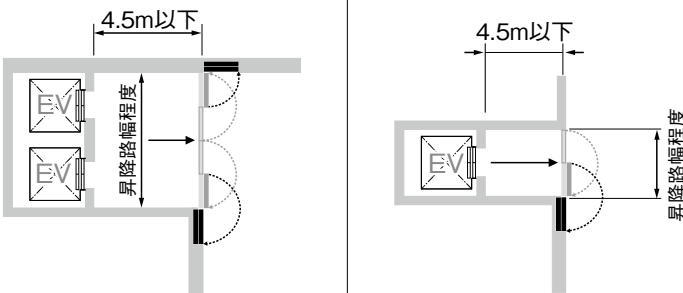
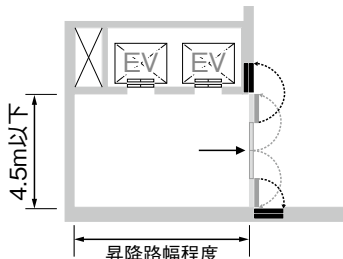
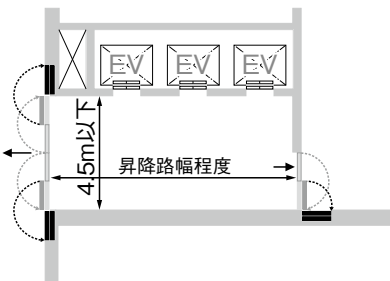
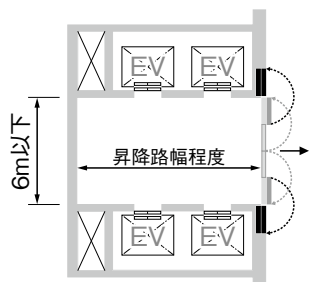
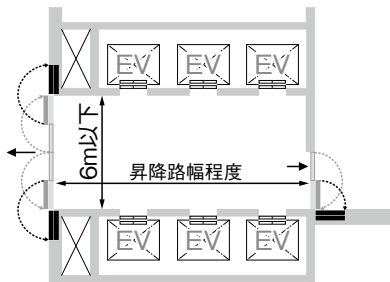
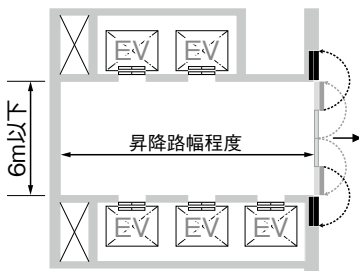
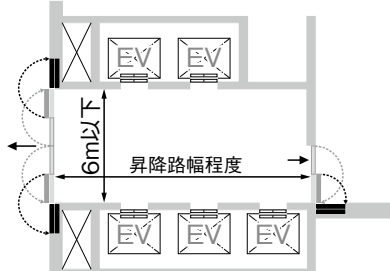
遮煙防火折りたたみ戸

鋼製開き戸・木質系開き戸・鋼製シャッター・鋼製折りたたみ戸／
複合防火設備（準耐火構造壁・床付き）

CAS-0258

平成17年改正（令）第112条対応

エレベーターホール(乗場戸前)の空間を含めての区画例

非常時に空間(乗場戸から0.3m超え)を形成する場合		乗降ロビーを設ける場合(乗場戸の正面に防火設備)	
 <p>0.3m超え1.0m程度</p>		 <p>4.5m以下</p> <p>昇降路幅程度</p>	
乗降ロビーを設ける場合(エレベーター 一列、防火設備 片側)		乗降ロビーを設ける場合(エレベーター 一列、防火設備 両側)	
 <p>4.5m以下</p> <p>昇降路幅程度</p>		 <p>4.5m以下</p> <p>昇降路幅程度</p>	
乗降ロビーを設ける場合(エレベーター 対面、防火設備 片側)		乗降ロビーを設ける場合(エレベーター 対面、防火設備 両側)	
 <p>6m以下</p> <p>昇降路幅程度</p>		 <p>6m以下</p> <p>昇降路幅程度</p>	
乗降ロビーを設ける場合(エレベーター 対面2、防火設備 片側)		乗降ロビーを設ける場合(エレベーター 対面2、防火設備 両側)	
 <p>6m以下</p> <p>昇降路幅程度</p>		 <p>6m以下</p> <p>昇降路幅程度</p>	

BX

S DO シリーズ

基本仕様

名 称		材 質	板厚 (mm)
枠	上 枠 たて枠	溶融亜鉛めっき鋼板	1.6
		ステンレス鋼板	1.5
扉	表面材	溶融亜鉛めっき鋼板	1.6
		ステンレス鋼板	1.5
	力 骨	溶融亜鉛めっき鋼板	2.3
	中 骨	溶融亜鉛めっき鋼板	1.6 (2.3)

※() 寸法はオプションになります。

●国土交通大臣認定番号

遮煙防火折りたたみ戸
鋼製開き戸・木質系開き戸・鋼製シャッター・鋼製折りたたみ戸／
複合防火設備（準耐火構造壁・床付き）

CAS-0258

平成17年改正（令）第112条対応

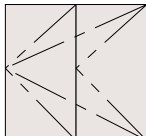
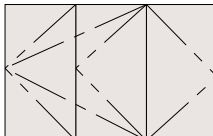
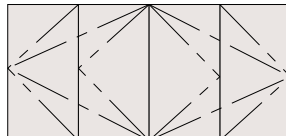
金物条件

構成材料	条 件	使用上の制約条件
吊り金具自閉装置	ヒンジクローザ (中心吊・持出吊)	防煙防火折りたたみ戸の中間 ヒンジは持出吊りとする。
錠 前	ラッチボルト機構を 有するケースロックを 原則とする	ラッチ機構と同等の性能を有 するものとしてローラー空錠 等がある。 但し、閉鎖時に確実にラッチ ングする必要がある。
扉保持金物	ドアキャッチ	2枚の扉を折りたたみ保持し、 煙感知器に連動し、自動で保 持を解放するもの。
扉連結金物	フラット金物	2枚の扉をフラット(1枚もの) に固定し、同時に開けるよう にするもの。
自動フランス落し	両開きの場合に 使用する	主扉閉鎖時に、確実にロッド が作動するものを使用する。 設置は上側1箇所を標準とする。
閉鎖順位調整器	両開きの場合に 使用する	枠面付型、枠内蔵型がある。
下部気密装置	板ゴム状の気密材と同等の性能を有するもので装置 本体は金属製とする。	

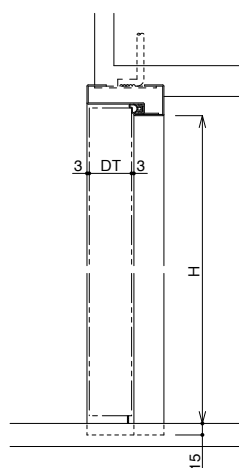
※金物の使用条件等については、遮煙防火折りたたみ戸 CAS-0258 仕様書
によります。

扉バリエーション

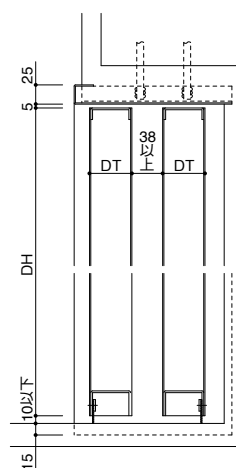
単位：mm

項 目	片開き		両開き (3枚)		両開き (4枚)	
形 式	 DW ₁ DW ₂		 DW ₁ DW ₂ DW ₃		 DW ₁ DW ₂ DW ₄ DW ₃	
随時閉鎖	DW ₁ DW ₂		DW ₁ 、DW ₃ DW ₂		DW ₁ 、DW ₃ DW ₂ 、DW ₄	
扉幅 (DW)	415～2,198 300～2,068		425～2,198 300～2,068		425～2,198 300～2,068	
扉厚 (DT)	55以上		55以上		55以上	
開口幅 (W)	750～4,200		1,000～6,000		1,000～6,000	
戸枠幅 (WW)	830～4,280		1,080～6,080		1,080～6,080	
扉高さ (DH)	1,800～3,500		1,800～3,500		1,800～3,500	
開口高さ (H)	1,800～3,500		1,800～3,500		1,800～3,500	
戸枠高さ (HH)	1,840～3,540		1,840～3,540		1,840～3,540	
枠見込み (w)	100以上		100以上		100以上	
共通事項	1) DW ₁ ～4は、W≧750 のもとで上表の範囲内とする。 2) DW ₁ ≧DW ₂ +65 DW ₃ ≧DW ₄ +65 3) DW ₀ =DW ₁ ～4全体の戸幅において以下の範囲とする。 片開きの場合：750+85≦DW ₀ 両開きの場合：750+(85×2-6)≦DW ₀ 4) DW ₂ または、DW ₄ のいずれか一方は3m ² 未満とする。 5) W×H≦30m ²					
使用条件	戸先側の扉の有効開口幅が750mm未満の場合は、 避難開口Wを750mm以上確保するために、フラット金物を使用して2枚の扉を同時に開放する。 潜戸は対応不可となります。					
性 能	1) 遮炎性能は、平成12年建設省告示第1369号による。 2) 遮煙性能は、指定性能評価機関の防火設備性能評価業務方法書「自動的に閉鎖又は作動し、遮煙性能を有する防火設備」による。 3) 安全性能は、平成17年国土交通省告示第2563号、第2564号による。					

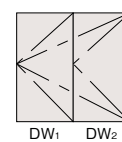
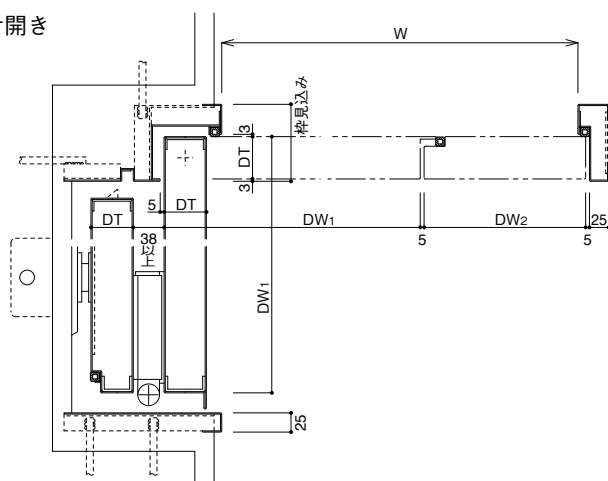
■縦断面図



■戸袋断面図

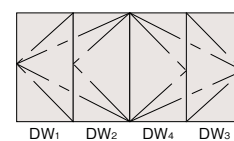
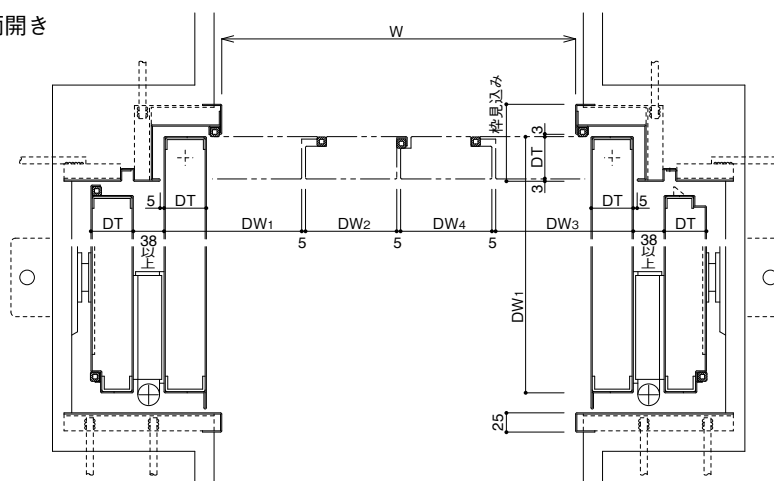


■片開き



BX

■両開き



SDS-TS series

遮煙SD開き戸・遮煙SD折れ戸

■常開時の外観を損ねないすっきりした設計

常開時の外観を損ねない様、扉に気密材を装着させた構造です。

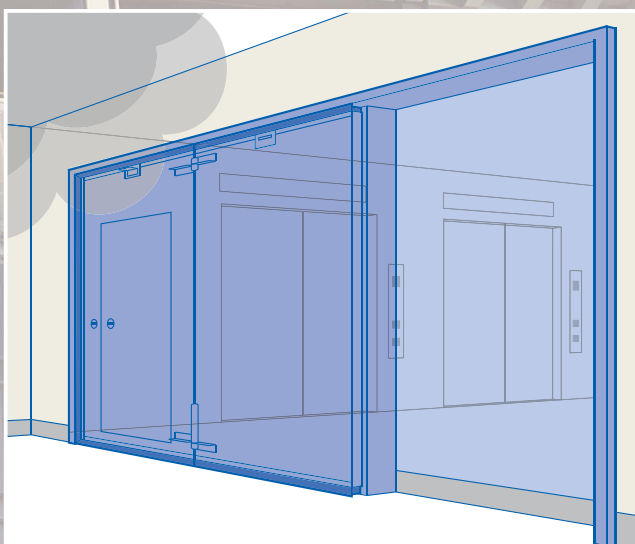
■両開きドアの順位調整器は常開時アーム隠蔽型

両開き戸の順位調整器は扉が作動時にのみアームが突出する常開時アーム隠蔽型順位調整器を使用しています。

■エレベーター前の防火区画に対応した遮煙ドア

国土交通大臣認定を取得した遮煙性能を有する鋼製開き戸・鋼製折れ戸です。

エレベーターホール等の空間を区画する場合に適用されます。



鋼製シャッター・鋼製開き戸・鋼製折りたたみ戸／
複合防火設備（準耐火構造壁・床付き）

CAS-0336

平成17年改正（令）第112条対応

ポイント 1 タイト材

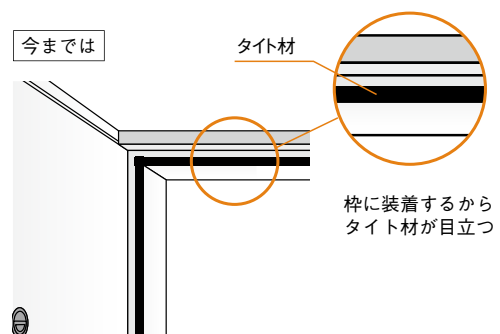
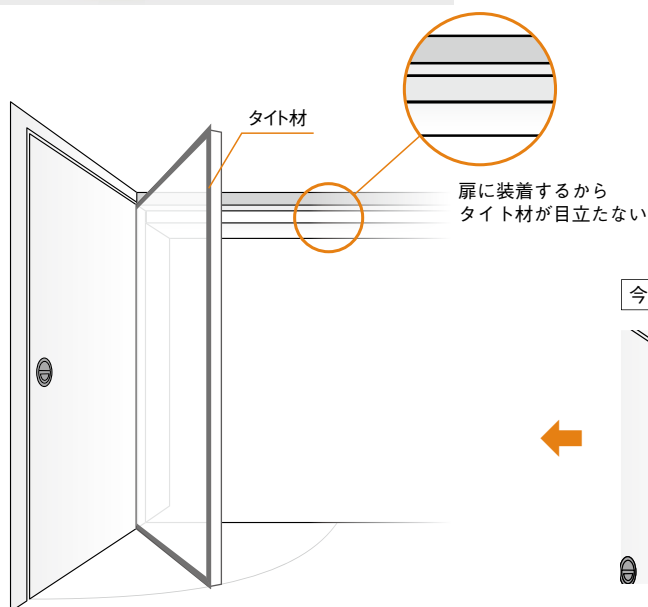
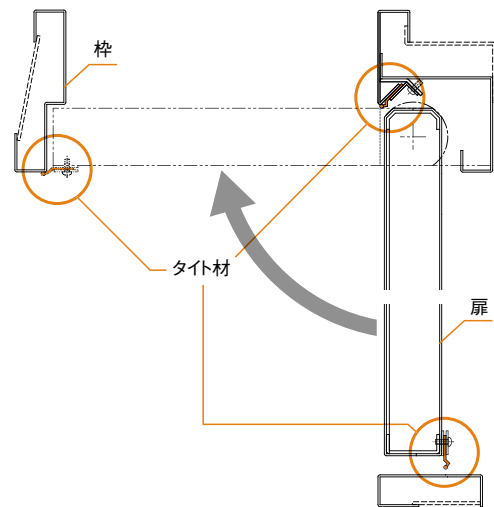
扉に装着するタイプの
薄型タイトゴムを使用したタイト材です。
扉に装着するから常開時でも外観を損ねません。

タイト材は枠ではなく扉に着いています。

90°開き（片開きの場合）



タイト材

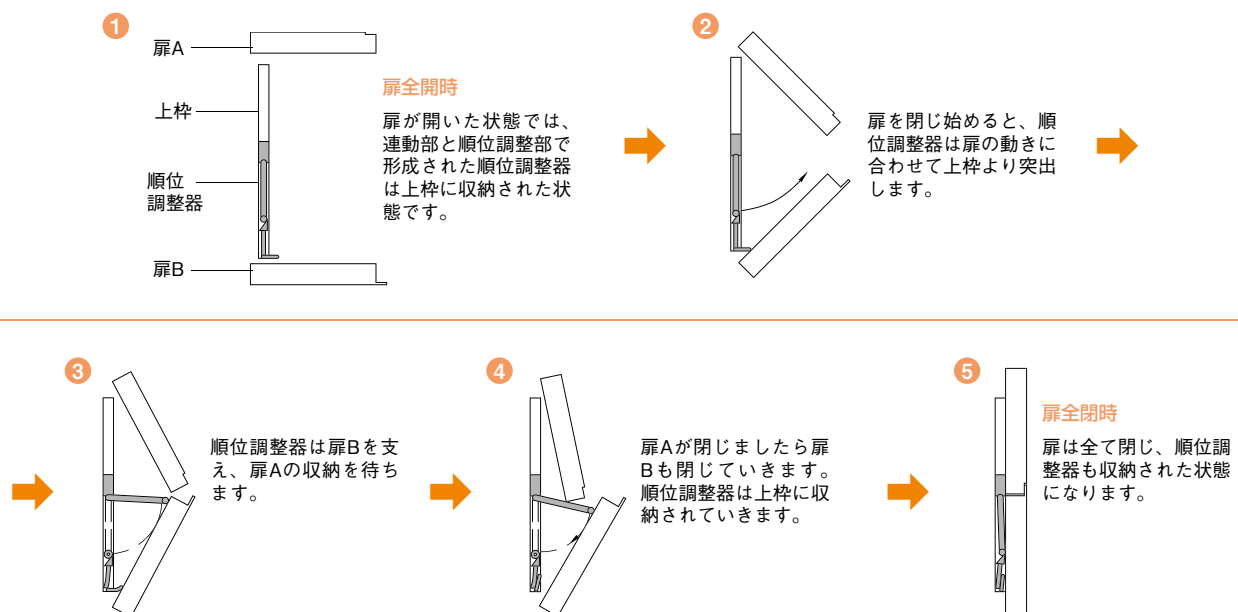


BX

ポイント 2 順位調整器

上枠に納まる常開時アーム隠蔽型の順位調整器は作動時のみ突出するだけなので外観意匠もスッキリしています。

■作動時の様子（両開きドア）



製造元は文化シャッターグループ BX鐵矢株式会社です。

エレベーターホール（乗場戸前）の空間を含めての区画例

非常時に空間（乗場戸から0.3m超え）を形成する場合		乗降ロビーを設ける場合（乗場戸の正面に防火設備）
<p>0.3m超え1.0m程度</p> <p>ケース-1</p> <p>ケース-2</p>	<p>0.3m超え1.0m程度</p> <p>ケース-1</p> <p>ケース-2</p>	<p>4.5m以下</p> <p>ケース-1</p> <p>ケース-2</p>
乗降ロビーを設ける場合（エレベーター列、防火設備片側）		乗降ロビーを設ける場合（エレベーター列、防火設備両側）
<p>4.5m以下</p> <p>昇降路幅程度</p> <p>ケース-1</p> <p>ケース-2</p>	<p>4.5m以下</p> <p>昇降路幅程度</p> <p>ケース-1</p> <p>ケース-2</p>	<p>4.5m以下</p> <p>昇降路幅程度</p> <p>方立</p> <p>SS</p> <p>ケース-1</p> <p>ケース-2</p>
乗降ロビーを設ける場合（エレベーター対面、防火設備片側）		
<p>6m以下</p> <p>昇降路幅程度</p> <p>ケース-1</p> <p>ケース-2</p>	<p>6m以下</p> <p>昇降路幅程度</p> <p>ケース-1</p> <p>ケース-2</p>	<p>6m以下</p> <p>昇降路幅程度</p> <p>方立</p> <p>SS</p> <p>ケース-1</p> <p>ケース-2</p>

基本仕様

名称		材質	板厚 (mm)
枠	たて枠	溶融亜鉛めっき銅板	1.6
	沓 摺	ステンレス銅板	1.5
扉	表面材	溶融亜鉛めっき銅板	1.6
	力 骨	溶融亜鉛めっき銅板	2.3
	中 骨	溶融亜鉛めっき銅板	1.6
			2.3

鋼製シャッター・鋼製開き戸・鋼製折りたたみ戸／
複合防火設備（準耐火構造壁・床付き）

CAS-0336

平成17年改正（令）第112条対応

金物条件

品 名	メーカー	品 番
ケースハンドル	美和ロック	OMCC
順位調整器	大鳥機工	TDJ-104
オートヒンジ（中心吊）		
折り戸用オートヒンジ		
フラット金物		
ドアキャッチ		
消防ホース口		

扉バリエーション

■開き戸

単位：mm

種 類	サイズ		くぐり戸なし	くぐり戸あり
	W	H		
片開き	くぐり戸なし 869～1,400 くぐり戸あり 1,135～3,000 (1,235～3,000)	くぐり戸なし 2,000～3,000 くぐり戸あり 2,180～3,000 (2,100～3,000)		
親子・両開き	くぐり戸なし 1,548～2,800 くぐり戸あり 2,117～6,000 (2,217～6,000)	くぐり戸なし 2,000～3,000 くぐり戸あり 2,180～3,000 (2,100～3,000)		

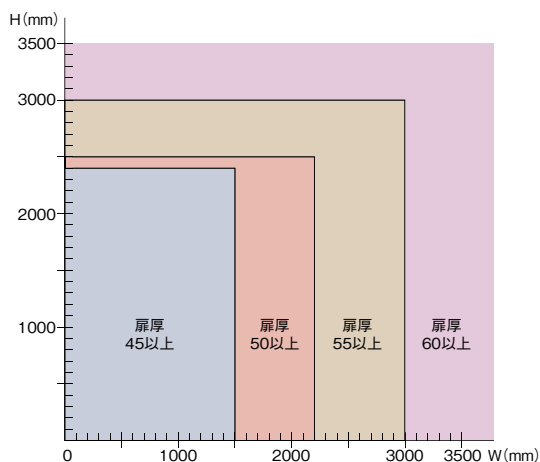
■折れ戸

単位：mm

種 類	サイズ		くぐり戸なし	くぐり戸あり
	W	H		
片開き (折りたたみ戸)	くぐり戸なし 780～3,500 くぐり戸あり 2,399～3,500 (2,599～3,500)	くぐり戸なし 1,810～3,000 くぐり戸あり 2,180～3,000 (2,100～3,000)		
親子・両開き (片側折りたたみ戸)	くぐり戸なし 1,105～4,900 くぐり戸あり 2,655～4,900 (2,855～4,900)	くぐり戸なし 1,810～3,000 くぐり戸あり 2,180～3,000 (2,100～3,000)		
親子・両開き (両側折りたたみ戸)	くぐり戸なし 1,724～7,000 くぐり戸あり 3,274～7,000 (3,474～7,000)	くぐり戸なし 1,810～3,000 くぐり戸あり 2,180～3,000 (2,100～3,000)		

※ () 内はくぐり戸ありのバリアフリー時のサイズです。

■扉厚設定目安表（扉1枚の場合）

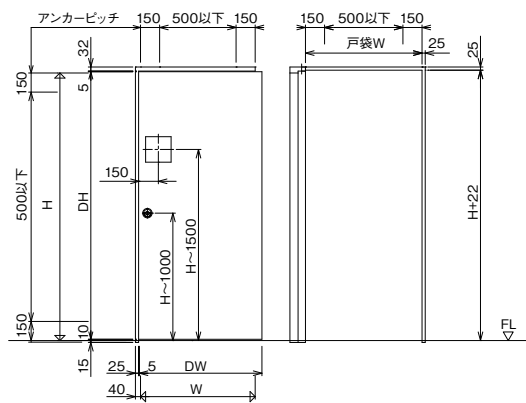


- ・扉のサイズ（DH×DW）が3㎡をこえるものは、くぐり戸を設けて下さい。
- ・くぐり戸ありの場合の最小扉厚は50mmです。
- ・折りたたみ戸の場合の最小扉厚は55mmです。
- ・折りたたみ戸で戸先側の扉の有効開口が750mm未満の場合はフラット金具を使用して下さい。

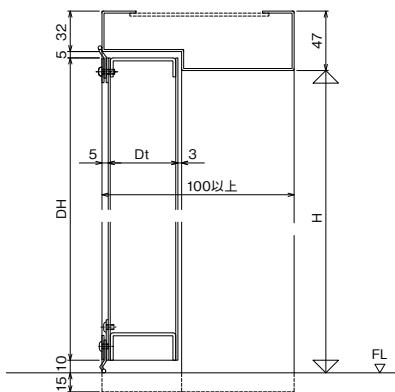
製造元は文化シャッターグループ BX鐵矢株式会社です。

片開き戸

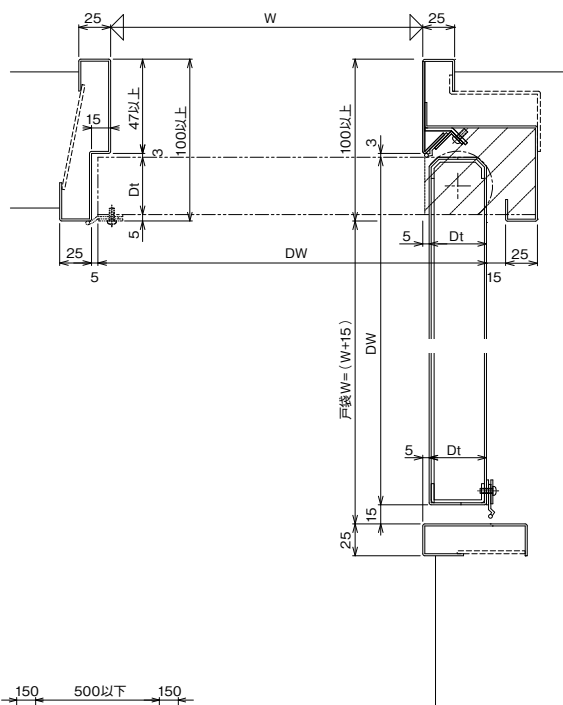
■外觀姿図



■縦断面図

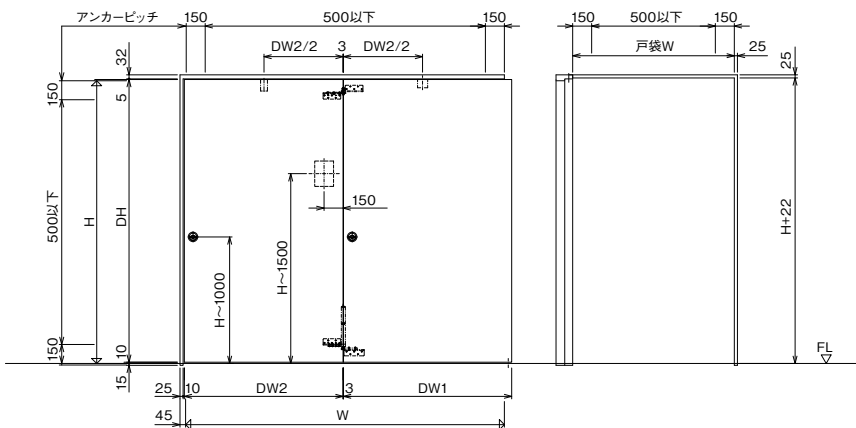


■横断面図

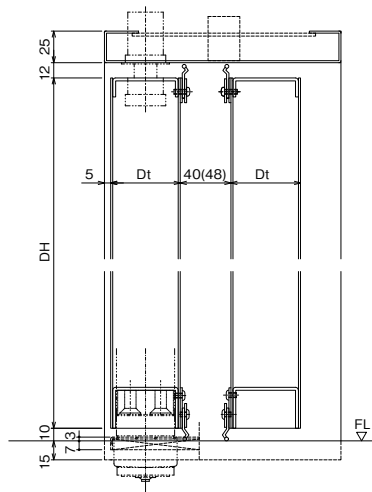


片開き 2 枚折戸

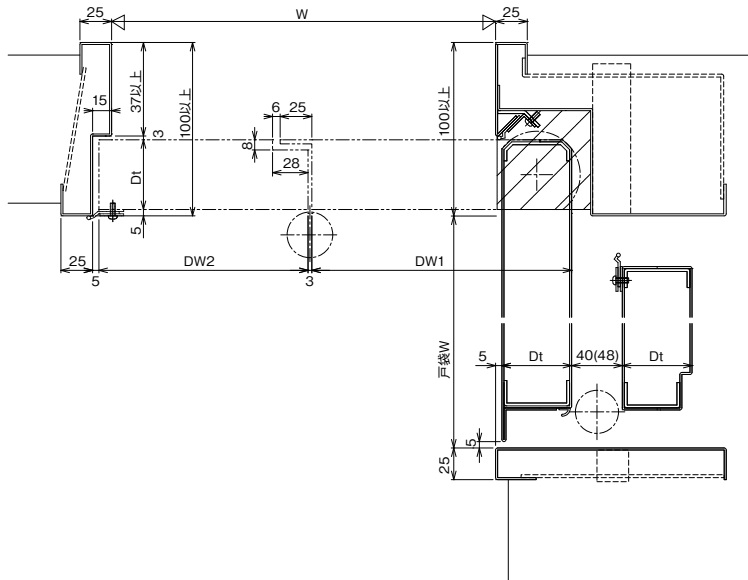
■外觀姿図



■縦断面図

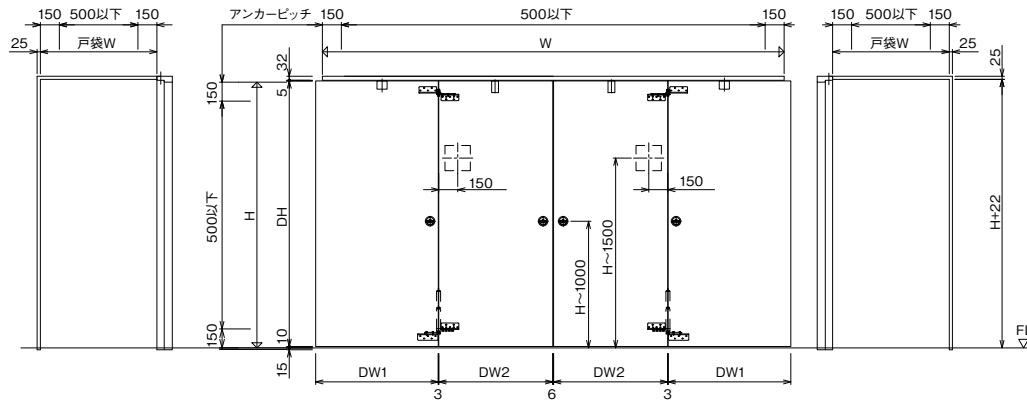


■横断面図

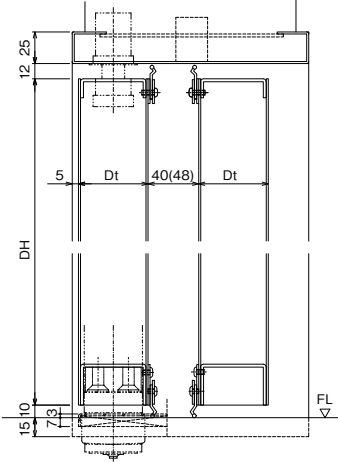


両開き 2 枚折戸

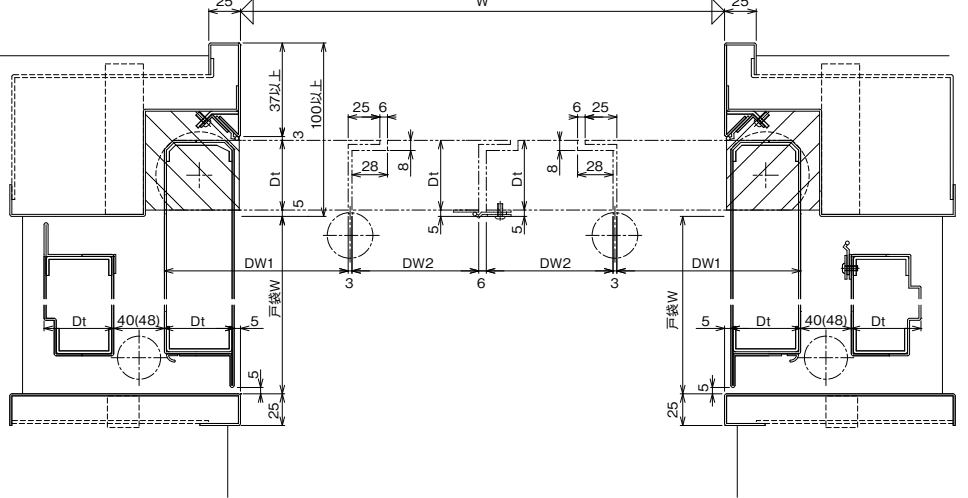
■外観姿図



■縦断面図



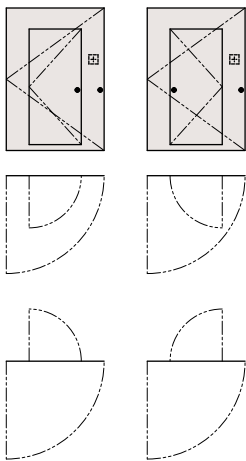
■横断面図



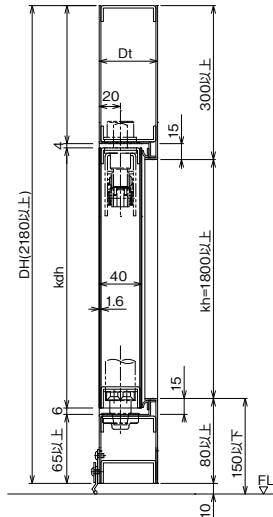
BX

避難口付 下框有り

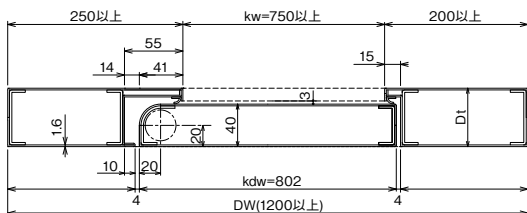
■外観姿図



■縦断面図

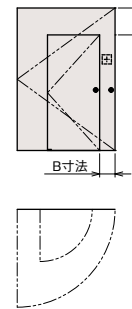


■横断面図

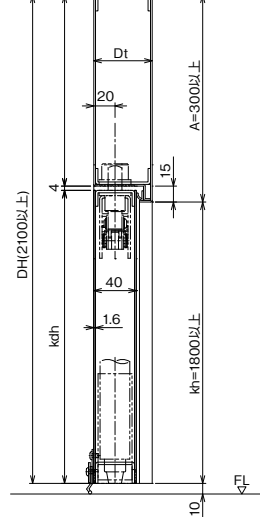


避難口付 バリアフリー

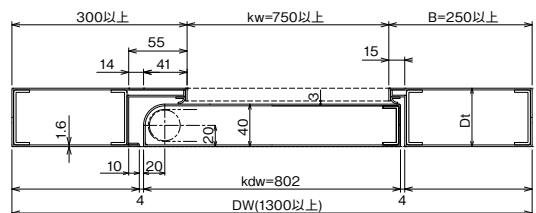
■外観姿図



■縦断面図



■横断面図



EDP・SDP series

標準型鋼製軽量建具・標準型鋼製建具

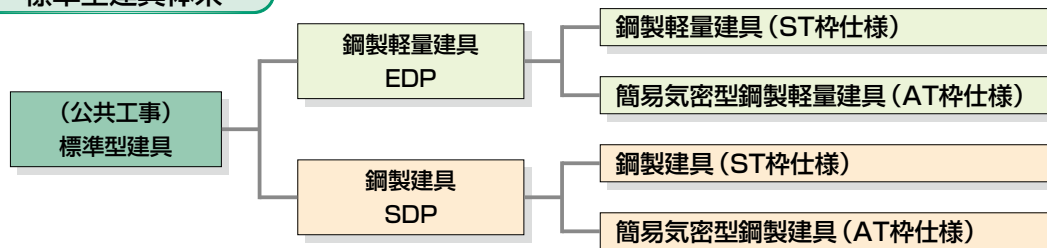
■国土交通省・標準型建具に適合

EDP・SDPシリーズは公共建築工事標準仕様書の
標準型鋼製軽量建具および標準型鋼製建具に対応した規格型スチールドアです。

■「建築材料等品質性能評価事業」の評価書を取得

一般社団法人 公共建築協会「建築材料等品質性能評価事業」における評価書を取得していますので
公共施設をはじめとするさまざまな用途に安心してご使用いただけます。

標準型建具体系

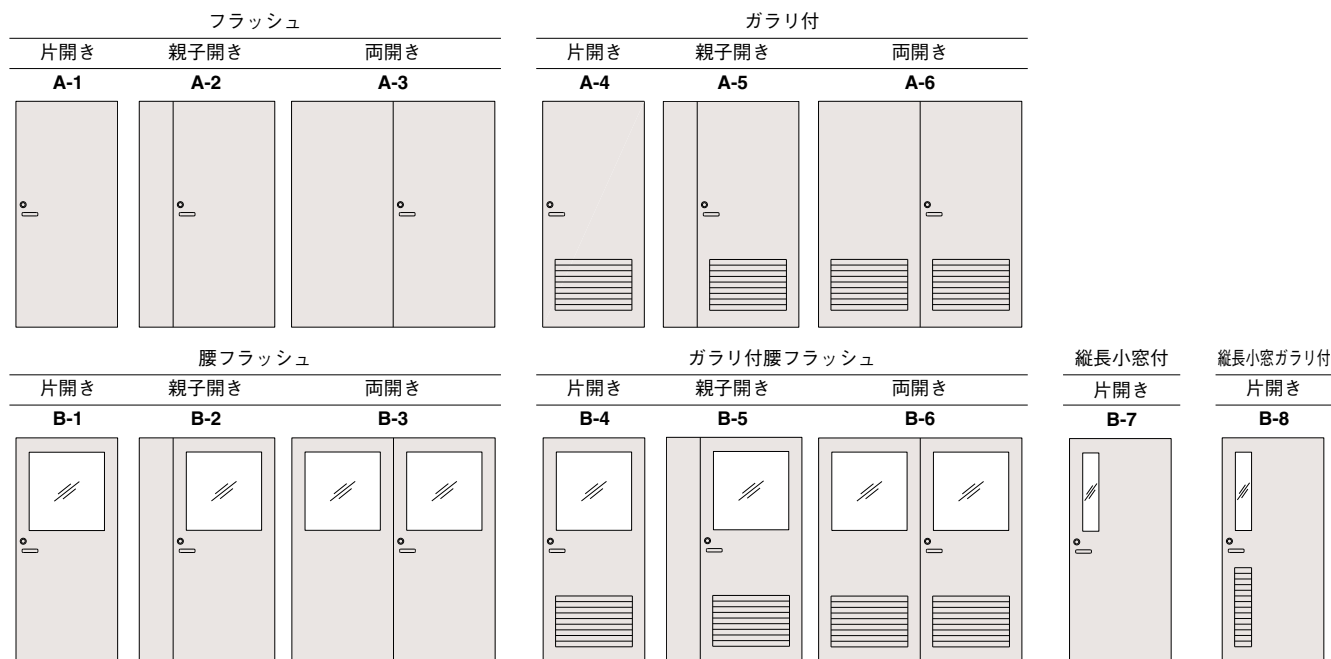


基本仕様

名称		種別	標準型鋼製軽量建具 EDP		標準型鋼製建具 SDP																			
			材 質	板厚 (mm)	材 質	板厚 (mm)																		
枠	上 枠 たて枠		溶融亜鉛めっき鋼板	1.6	溶融亜鉛めっき鋼板	1.6																		
	水切板		—																					
	沓 摺		ステンレス鋼板 (SUS 304)	1.5	ステンレス鋼板 (SUS 304)	1.5																		
	目地棒		ステンレス鋼棒 (SUS 304)	4×12	ステンレス鋼棒 (SUS 304)	4×12																		
	ATゴム		クロロプレンゴム又はEPDM		クロロプレンゴム又はEPDM																			
扉	表面材		溶融亜鉛めっき鋼板	0.6	溶融亜鉛めっき鋼板	1.6																		
			化粧鋼板																					
	芯 材		ペーパーコア		力骨 溶融亜鉛めっき鋼板	2.3																		
			水酸化アルミ無機シートコア		中骨 溶融亜鉛めっき鋼板	1.6																		
	召合せ エッジ		ステンレス鋼板 SUS 304	0.8	溶融亜鉛めっき鋼板	1.6																		
			溶融亜鉛めっき鋼板	0.6																				
	小 窓		アルミニウム合金押出型材		溶融亜鉛めっき鋼板																			
			溶融亜鉛めっき鋼板																					
ガラリ		アルミニウム合金押出型材		溶融亜鉛めっき鋼板																				
		溶融亜鉛めっき鋼板																						
塗 装			防錆塗装仕上		防錆塗装仕上																			
関連法規		16.5.6 標準型鋼製軽量建具				16.4.6 標準型鋼製建具																		
		標準型鋼製軽量建具は、次により寸法及び金物を標準化したものとする。 (1) 有効内法寸法は、表16.4.5による。 (2) 建具用金物 (i) 錠類は、シリンダー箱錠(レバーハンドル)とする。 なお、錠類は、表16.8.1による品質を満たした建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。 (ii) ドアクローザは、露出型とする。 (iii) (i) 及び (ii) 以外は、建具製作所の仕様による。 (3) (1) 及び (2) 以外は、この節による。				標準型鋼製建具は、次により寸法及び金物を標準化したものとする。 (1) 有効内法寸法、表16.4.5による。 表16.4.5 標準型鋼製建具の有効内法寸法																		
		<table><tr><th>形式</th><th>寸法</th><th>幅</th><th>高さ(注)</th></tr><tr><td rowspan="2">片開き</td><td rowspan="2"></td><td>900</td><td rowspan="6">2,000 2,100</td></tr><tr><td>950</td></tr><tr><td rowspan="2">親子開き</td><td rowspan="2"></td><td>1,200</td></tr><tr><td>1,250</td></tr><tr><td rowspan="2">両開き</td><td rowspan="2"></td><td>1,800</td></tr><tr><td>1,900</td></tr></table>				形式	寸法	幅	高さ(注)	片開き		900	2,000 2,100	950	親子開き		1,200	1,250	両開き		1,800	1,900	(注) 下端の寸法押え位置は、床仕上げ面とする。	
形式	寸法	幅	高さ(注)																					
片開き		900	2,000 2,100																					
		950																						
親子開き		1,200																						
		1,250																						
両開き		1,800																						
		1,900																						
		(2) 建具用金物 (i) 錠類は、外部用、内部用ともシリンダー箱錠(レバーハンドル)とする。 なお、錠類は、表16.8.1による品質を満たした建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。 (ii) ドアクローザは、露出型とする。 (iii) (i) 及び (ii) 以外は、建具製作所の仕様による。 (3) (1) 及び (2) 以外は、この節による。																						

※関連法規は平成28年度版公共建築工事標準仕様書より抜粋。
 ※有効内法寸法は公共建築工事標準仕様書(表16.4.5)又はP.43建具寸法を参照ください。
 ※防火仕様にも対応可能ですが、詳細はお問い合わせください。

扉バリエーション



※姿図形状は上記14パターン限定となります。

建具寸法

単位：mm

	建具寸法			鋼製軽量建具 EDP				鋼製建具 SDP			
	記号	W	H	小窓 KW・KH		ガラリ GW・GH (A・S)		小窓 KW・KH		ガラリ GW・GH	
				KW	KH	GW	GH	KW	KH	GW	GH
片開き	90-20	900	2,000	703	730	703 (150)	460	703 (150)	730	703 (150)	450 (700)
	90-21		2,100	(150)		(150)	A1 (710)				
	95-20	950	2,000	753	730	753 (150)	A2 (700)	753 (150)	730	753 (150)	
	95-21		2,100	(150)		(150)	S (710)				
親子開き	120-20	1,200	2,000	703	730	703	460	703	730	703	450
	120-21		2,100								
	125-20	1,250	2,000	753	730	753	460	753	730	753	
	125-21		2,100								
両開き	180-20	1,800	2,000	688	730	688	460	689	730	689	450
	180-21		2,100								
	190-20	1,900	2,000	738	730	738	460	739	730	739	
	190-21		2,100								

※() 内寸法は、縦長小窓、縦長ガラリの場合の寸法を示します。

※小窓及びガラリの寸法は、A=アルミ製 S=スチール製 表示なし=共通

※上記表以外の寸法は、一般建具扱いとなります。

ガラリ

	片流れガラリ (内部用)		山型ガラリ (内部用)		片流れガラリ (外部用)	
形式	A1 S1 G1		A2 S2 G2		G3	

※A=アルミ製 S=スチール製 (EDP用) G=スチール製 (SDP用) を示します。

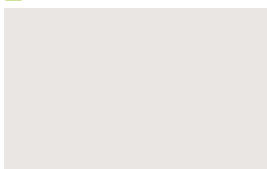
枠納まりバリエーション

鋼製建具・簡易気密型鋼製建具		鋼製建具・簡易気密型鋼製建具・鋼製軽量建具・簡易気密型鋼製軽量建具			
	外部納まり標準	内部納まり標準			
	RC納まり	RC納まり	GL納まり	軽量鉄骨納まり	
上枠部納まり	S1 簡易気密型枠時のA部詳細	S2 L2 簡易気密型枠時のC部詳細	S3 L3 簡易気密型枠時のE部詳細	S4 L4 簡易気密型枠時のG部詳細	
縦枠部納まり	 普通型召合せ (鋼製建具) 簡易気密型召合せ (鋼製建具) 簡易気密型枠時のB部詳細	 普通型召合せ (鋼製軽量建具) 簡易気密型召合せ (鋼製軽量建具) 簡易気密型枠時のD部詳細	 簡易気密型枠時のF部詳細	 簡易気密型枠時のH部詳細	
下枠部納まり	-1T 簡易気密型枠時のI部詳細	-2T 簡易気密型枠時のJ部詳細	-3T 目地棒	-4T 目地棒	-5T

S：鋼製建具 L：鋼製軽量建具

扉カラーバリエーション

EDP



クリームホワイト



クリーム

SDP



防錆塗装 JPMS 28

※カタログの色は製品と多少異なる場合があります。

金物

品名	メーカー	品 番
錠前	ゴール	PB-LG5 LB 369A (シルバー色)
	美和ロック	PB-U9LA20-1 (シルバー色)
クローザ	(公共工事)	標準型建具用ドアクローザ
丁番	制定品	
PH	ニュースター	1C-5①T (EDP) 8C-5①T (SDP)
順位調整器	ニュースター	SF-250F
	リョービ	JC-25

※錠前、ドアクローザは各金物メーカーの標準型建具用をご使用ください。

錠前



●ゴール
PB-LG5 LB 369A

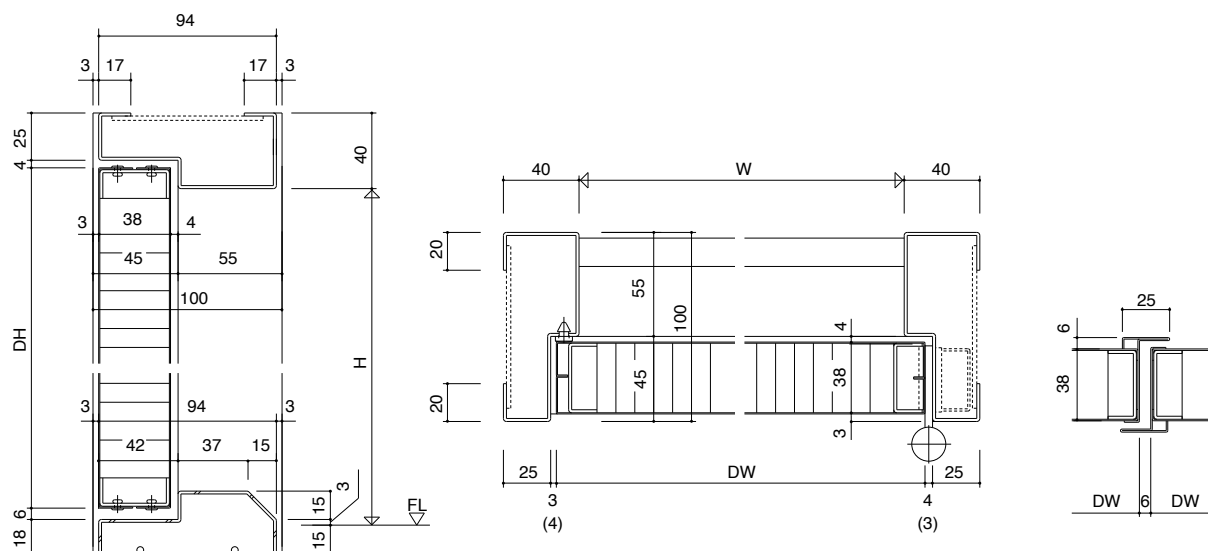
ドアクローザ



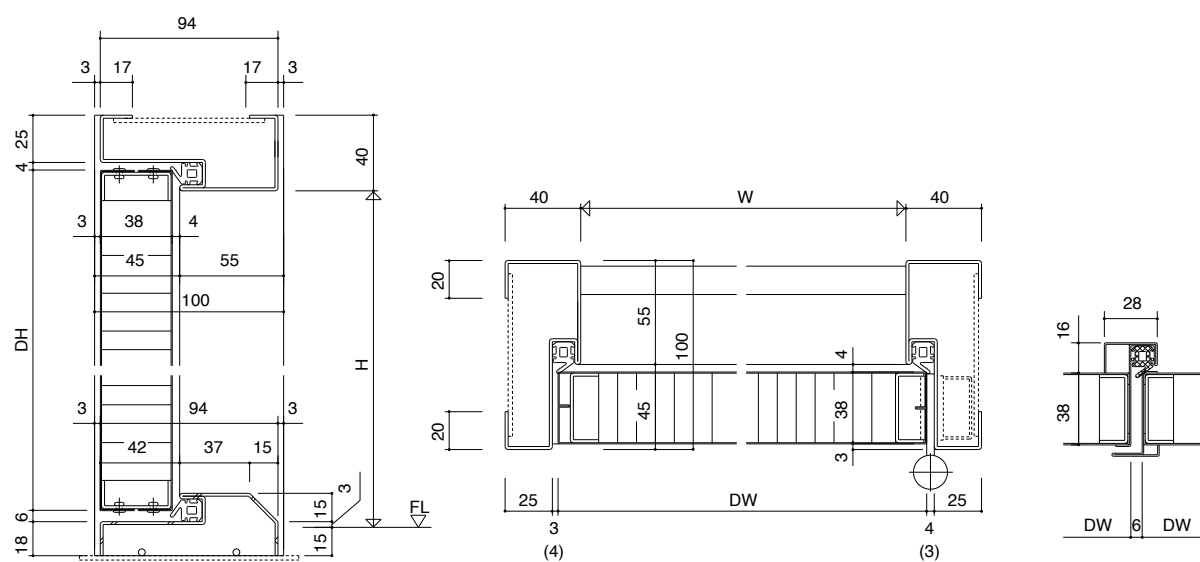
●ニュースター
7000シリーズ

EDP・SDPシリーズ

ST納まり

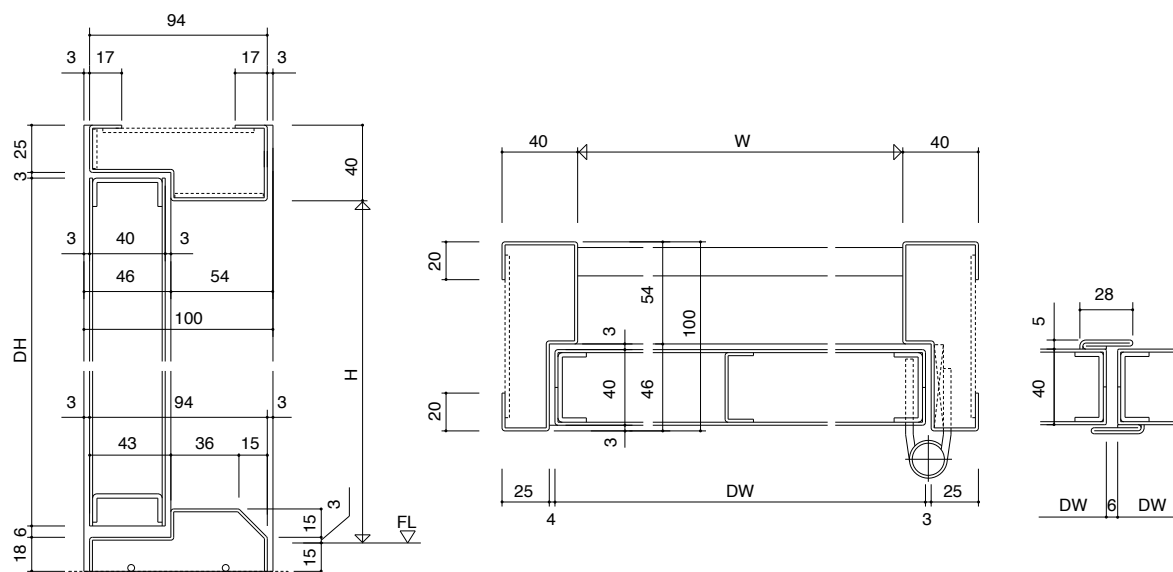


AT納まり



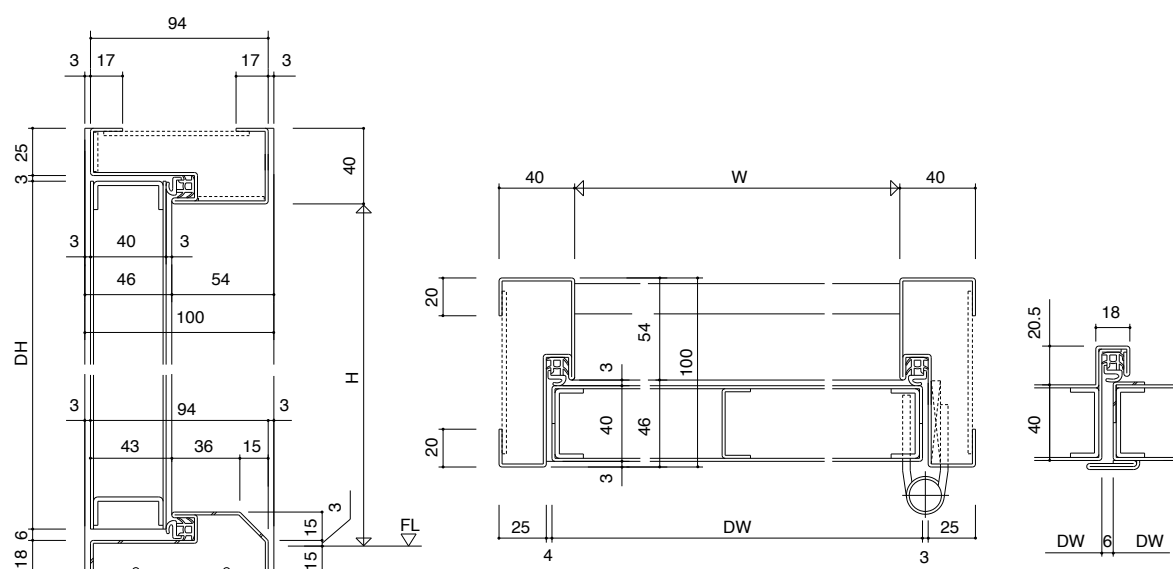
※() 内寸法はピボットヒンジの場合を示す。

ST納まり



BX

AT納まり



止水ドア アクアード【特許取得済】

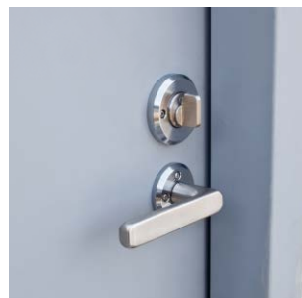
(片開きスチールタイプ・ステンレスタイプ／両開き・親子開きスチールタイプ・ステンレスタイプ)

増加する集中豪雨による都市型水害に備える止水製品です。

スチールドアの操作性はそのままに高い止水性能を発揮!

水深3mまでに対応した、コストパフォーマンスに優れた止水ドア。

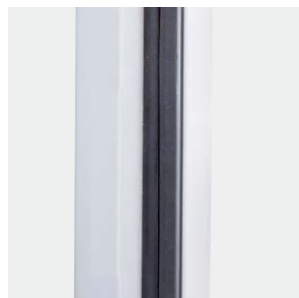
- 止水高さは3mまで対応可能です。業界初の漏れにくい止水レバーハンドル錠、独自の止水ゴム、止水グレモンを採用し、漏水量はごくわずか。
- 耐水圧強度を確保しながら、一般スチールドアの機能性を目指しました。従来のスチールドアと同等の納まりと軽い操作性を実現しました。
- 防火戸として使用が可能です。(特定防火設備に対応可能。常時閉鎖式防火戸に対応。(扉面積3㎡以下))
- 従来の水密扉に比べ導入コストを抑えました。



錠前部分からの漏水を防ぐ
当社独自の構造



止水グレモン部からの漏水を防止!



独自の止水ゴムの採用で、
隙間部分からの漏水を防止!



一般のスチールドアと同等の
扉厚と操作性を実現

主要設置場所

工場・倉庫・ビル・マンション・商業施設・公共施設・電気室・機械室

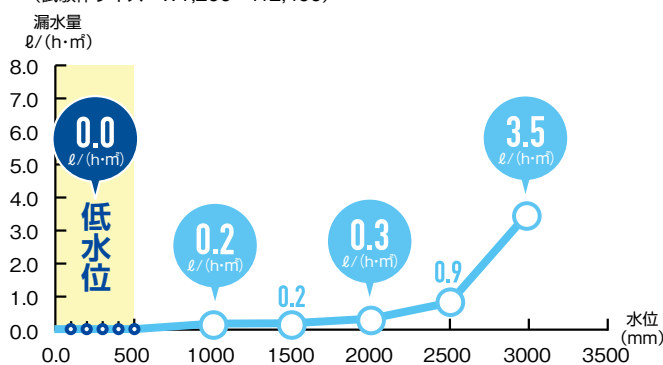
低水位時の漏水を止水グレモンでしっかりガード

扉への水圧が低い500mm位までの低水位時の漏水量を抑えるため、止水グレモンで扉と枠を密着。
水位が上がっても業界初の止水レバーハンドル錠、独自の止水ゴムとの相乗効果で漏水量はごくわずかです。

水位別漏水量の変化

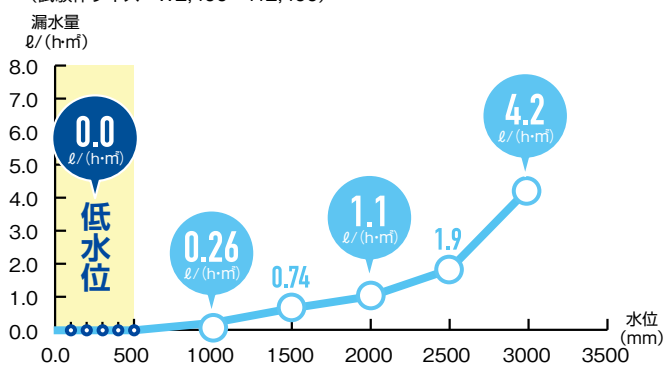
●片開きスチールタイプ

(一財)建材試験センター 性能評価試験の結果
(試験体サイズ: W1,200×H2,400)



●両開き・親子開きステンレスタイプ

(一財)建材試験センター 性能評価試験の結果
(試験体サイズ: W2,400×H2,400)



浸水防止性能

■ JIS A 4716 漏水量による等級

片開き (W1200×H2400)	
水位	JIS 等級
100~1000mm	Ws-6
1000~2000mm	Ws-6
2500mm	Ws-6*
3000mm	Ws-5*

※扉が水没した状態

両開き (W2400×H2400)	
水位	JIS 等級
100~1000mm	Ws-6
1000~2000mm	Ws-6
2500mm	Ws-6*
3000mm	Ws-4*

※扉が水没した状態

標準付属金物(当社オリジナル品)

止水レバーハンドル錠



屋外側

屋内側

二軸丁番 (止水性を高める特殊丁番)



通常時

止水時

※止水グレモンの作動により、扉が押し込まれ
枠と扉が密着します。

止水グレモン (内外で操作可能)



通常時

止水時

仕様

■主な性能

	片開きスチールタイプ・ステンレスタイプ	両開き・親子開きスチールタイプ・ステンレスタイプ
防火性能	特定防火設備・防火設備(例示仕様)	特定防火設備・防火設備(例示仕様)
浸水防止性能	Ws-5 ~ Ws-6	Ws-4 ~ Ws-6

※本データは当社実験値であり保証値ではありません。設置箇所の状況、設置環境等により止水性能は変わります。本製品は完全止水製品ではありません。

片開きスチールタイプ・ステンレスタイプ仕様

	スチールタイプ	ステンレスタイプ
設置条件 ※1	新設および既設 外開き限定	新設および既設 外開き限定
扉バリエーション 仕上げ ※2	スチール製フラッシュ扉 —	ステンレス製フラッシュ扉 HL オプションでバイブレーション
設計範囲 ※3	最大 W1,200mm × H2,400mm 最小 W600mm × H1,500mm	最大 W1,200mm × H2,400mm 最小 W600mm × H1,500mm
扉厚	40mm(50, 60mm対応可)	40mm
材質	扉 表面材:スチール t1.6	扉 表面材:ステンレス t1.5
	力骨 中骨:スチール t2.3	力骨 中骨:ステンレス t2.0
	枠 スチール t1.6	枠 ステンレス t1.5
	沓すり ステンレス t1.5(t2.0)	沓すり ステンレス t1.5(t2.0)

※1 ただし既設のカバー工法は不可。※2 鏡面仕上げは不可。※3 扉面積が3㎡を超える場合は、特定防火設備として対応できません。(避難経路の場合) 注) ステンレスタイプの表面材と中骨は、接着剤固定です。

両開き・親子開きスチールタイプ・ステンレスタイプ仕様

	スチールタイプ	ステンレスタイプ
設置条件 ※4	新設および既設 外開き限定	新設および既設 外開き限定
扉バリエーション 仕上げ ※5	スチール製フラッシュ扉 —	ステンレス製フラッシュ扉 HL オプションでバイブレーション
設計範囲 ※6	最大 W2,400mm × H2,400mm 最小 W1,200mm × H1,500mm (最小子扉DW423mm、親扉DW823mm)	最大 W2,400mm × H2,400mm 最小 W1,200mm × H1,589mm (最小子扉DW423mm、親扉DW823mm)
扉厚	60mm	60mm
材質	扉 表面材:スチール t1.6	扉 表面材:ステンレス t1.5
	力骨 中骨:スチール t2.3	力骨 中骨:スチール t2.0
	枠 スチール t1.6	枠 スチール t1.5
	沓すり ステンレス t1.5(t2.0)	沓すり ステンレス t1.5(t2.0)

※4 ただし既設のカバー工法は不可。※5 鏡面仕上げは不可。※6 扉面積が3㎡を超える場合は、特定防火設備として対応できません。(避難経路の場合) 注) ステンレスタイプの表面材と中骨は、接着剤固定です。

スチールタイプに小窓の設置が可能となりました。

※小窓を設置した場合、止水高さは1mまでとなります。

■小窓設計範囲

※他の窓との間隔は、W方向：70mm 以上、H方向：70mm 以上の確保が必要となります。

両開き 130 ≤ KW ≤ 813 100 ≤ KH ≤ 1215

※戸先、戸尻から窓までの寸法 ≥ 205

扉上端から窓までの寸法 ≥ 150

扉下端から窓までの寸法 ≥ 1050

片開き 150 ≤ KW ≤ 902 100 ≤ KH ≤ 1215

※戸先、戸尻から窓までの寸法 ≥ 175

扉上端から窓までの寸法 ≥ 150

扉下端から窓までの寸法 ≥ 1050

■止水性能

	片開きスチールタイプ
止水高さ	MH ≤ 1000mm
浸水防止性能	Ws-6

- ・小窓下端は1050以上で小窓部分は水没不可とする
- ・両開き、親子開きの場合、小窓は親扉のみ対応可能
- ・要求止水高さMHが錠前高さよりも低い場合、一般錠も対応可能

※子扉にも小窓を取付ける場合は弊社営業にご相談ください。



関連商品

機械室

ATドア

気密性に優れたエアタイトドア

気密

- ドア枠、扉に気密材（ATゴム）を設定し、高い気密性能を保持したエアタイトドア。
- 食品工場や医療福祉施設、精密機械工場などのクリーン環境に適しています。



PS など

点検口

設備点検用のスチールドア

- ダクトや空調機、EPS、PSなどの点検用開口扉です。



ガス機器用換気ドア

ガスチャンバー

美観と機器の安全に配慮

- 扉内設置型と扉直付型に対応した、幅広いバリエーションをご用意しています。



レントゲン室

X線防護

病院の放射線室や CT 室の入口などに最適

防火

X線防護

- 鉛板を張り合わせた放射線防護型。一般のレントゲン室や CT 室の入口に採用いただけます。



米軍施設

UL認証スチールドア

3 時間耐火試験に合格し UL 認証を取得

防火

- BXグループにて製作、施工を行うため、安心してご採用ください。
UL 認証番号：扉 R39817 / 枠 R39932 (2019 年 12 月取得)



本製品はアメリカ保証業者安全試験所 (Underwriters Laboratories Inc.:UL) により、炎と煙の広がりを抑えることを目的として隣接したスペースを分離するために使用される材料、システムおよびアセンブリの認証を取得しました。

大規模震災時でも、閉まるドア（特許出願済）

防火 耐震

- 大規模震災直後に火災が発生した際、建物の歪みによって防火戸の枠が変形していても、扉が上枠や床と干渉することなく閉鎖するので、防火性能を保持し、避難経路を確保します。
- 面内、面外およびそれらの組み合わせでの層間変形角 1/90（瞬間最大 1/60）に対応します。



扉 閉鎖時



扉 開放時

特別避難階段附室

開放軽減機構付き鋼製ドア エア・バランスー

火災時の圧力差による開放力を軽減する扉（特許出願済）

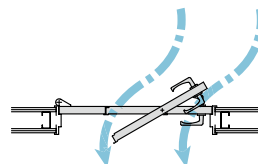
防火

- 火災時に加圧防排煙設備が作動した際の圧力差による扉開放困難を解消し、安全な避難経路の確保、消防活動に有効な防火戸です。
- 独自の開放軽減機構により、防火区画と区画外の圧力差が 500Pa 時であっても 100N 以下の力で扉を開放できます。
- 平成 25 年、消防防災機器等の開発・改良に関する表彰（通称：消防庁長官表彰）で「優秀賞」を受賞しました。



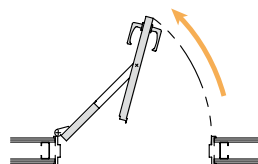
加圧防排煙設備作動時の開閉

- 1 独自の開放軽減機構により圧力差による開閉負荷が生じた場合のみ、戸先側のバランス扉が回転する構造です。

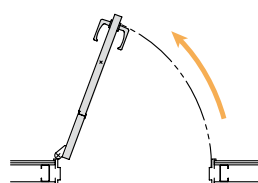


BX

- 2 回転したバランス扉の隙間に空気の通り道ができることで、気圧の高い方から低い方へ空気が流れていくため、圧力差が軽減され、開けやすくなります。



- 3 バランス扉はほぼ 90° まで開きます。手を離すと自動的に閉鎖します。



関連商品

関連性能資料

防火性

■防火性とは

防火性とは、建築物の火災に対する安全性のレベルを表す性能です。建築基準法、建築基準法施行令、建設省（現、国土交通省）告示等で詳細に規制されています。

なかでも、耐火建築物、準耐火建築物や防火地域又は準防火地域にある建築物の外壁で、延焼のおそれのある部分の開口部については、炎を遮り延焼を防止するために、「防火設備」（防火戸）の使用が義務づけられています。

■防火設備の種類

特定防火設備

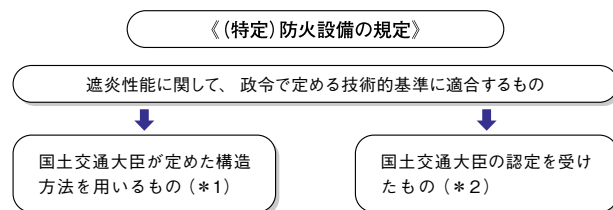
火災の拡大を防止するものであり、防火区画や防火壁の開口部、外壁の開口部、避難階段の出入口部分などに用いられています。

防火設備

主として、開口部の延焼防止を目的として、防火区画の一部や外壁の開口部などに用いられています。

■(特定)防火設備の規定

(特定)防火設備は、政令で定める技術的基準に適合するもので、国土交通大臣が定めた構造方法を用いるか、国土交通大臣の認定を受ける必要があります。



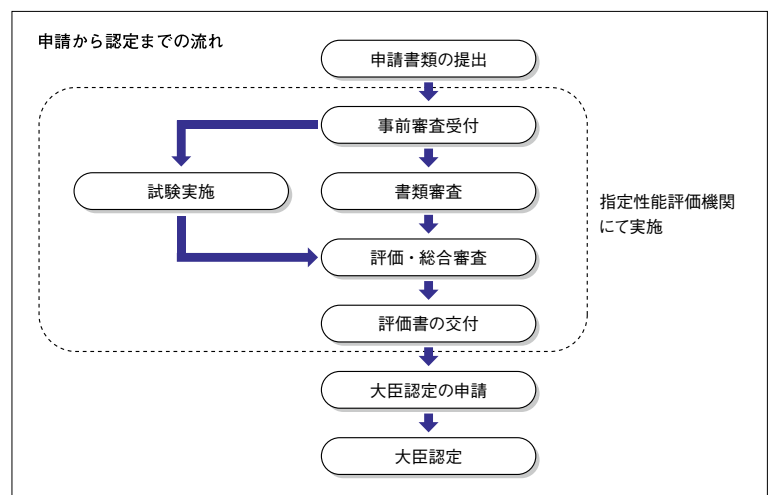
■(特定)防火設備の構造方法（＊１）

特定防火設備及び防火設備の技術基準に適合する構造方法については建設省（現、国土交通省）告示により、右表のように規定されています。

材料の種類	特定防火設備 (平成12年建設省告示第1369号)	防火設備 (平成12年建設省告示第1360号)
鉄製	鉄板厚さ1.5mm以上のもの	鉄板厚さ0.8mm以上1.5mm未満のもの
	骨組が鉄製で、両面にそれぞれ厚さ0.5mm以上の鉄板を張ったもの	
鉄骨コンクリート製 鉄筋コンクリート製	厚さ3.5cm以上のもの	厚さ3.5cm未満のもの
土蔵造	厚さ15cm以上のもの	厚さ15cm未満のもの
鉄と網入ガラス	——	鉄及び網入ガラスで造られたもの
骨組に防火塗料を塗布した木材製	——	屋内面に厚さ1.2cm以上の木毛セメント板又は厚さ0.9cm以上のせっこうボードを張り、屋外面に垂鉛鉄板を張ったもの
防火塗料を塗布した木材及び網入ガラスで造られたもの	——	開口面積が0.5㎡以内の開口部に設ける戸

■(特定)防火設備の認定（＊２）

(特定)防火設備についての国土交通大臣の認定を受けるためには、指定性能評価機関において試験を実施し、事前評価を受ける必要があります。



(特定)防火設備の試験・評価方法

(特定)防火設備についての国土交通大臣の認定を受けるためには、指定性能評価機関において試験を行い、評価を受けることが必要です。

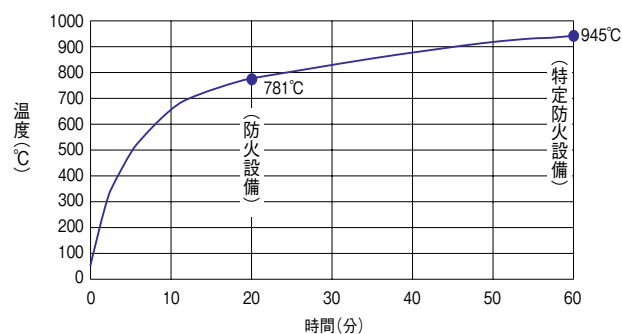
加熱方法

特定防火設備は60分、防火設備は20分加熱する。

判定方法

- 非加熱側へ10秒を超えて継続する火炎の噴出がないこと。
- 非加熱側で10秒を超えて継続する発炎がないこと。
- 火炎が通る亀裂等の損傷及び隙間を生じないこと。ただし、防火戸のくつずり及びシャッターの床に接する部分の隙間(10mm以下)は除外する。

耐火標準加熱曲線

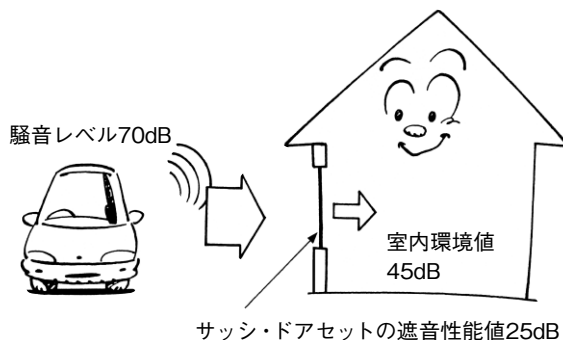


遮音性

■遮音性とは

遮音性とは、室外から室内へ侵入する音、室内から室外へ漏れる音をどれくらい遮ることができるかを表す性能です。

室外の騒音レベルから、サッシ・ドアセットの遮音性能値を差し引いたものがおよそ室内の騒音の大きさとなります。



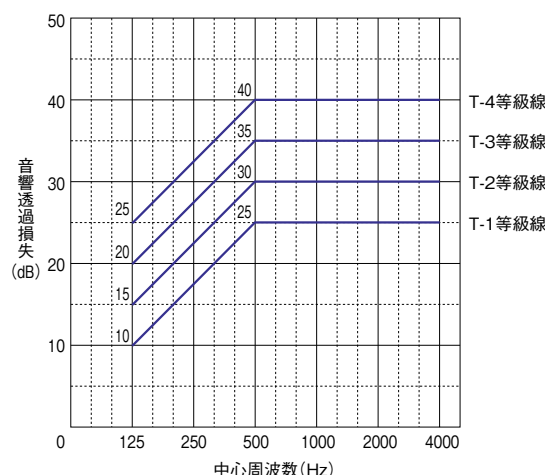
■遮音性の等級と性能

JIS A 4706・JIS A 4702に遮音性による等級と性能(判定基準)が下表のように決められています。

サッシ・ドアセットの音響透過損失試験の結果を右のグラフに書き込み、曲線がそれぞれの等級線を下回らない遮音等級線(ただし各周波数で該当する遮音等級線を下回る換算値の合計が3dB以下の場合は、その遮音等級とする)を読み判定します。

性能項目	等級	等級との対応値	性能
遮音性	T-1	遮音等級線	該当する等級について、JIS A 4706・4702に規定する遮音等級線に適合すること。
	T-2	T-1等級線	
	T-3	T-2等級線	
	T-4	T-3等級線	
	T-4	T-4等級線	

遮音等級線



BX

■「品確法」による性能表示について

(1)等級表示

「品確法」第5条第1項に基づく「設計住宅性能評価書」および「建設住宅性能評価書」の中では、共同住宅(各住戸)における、「居室の外壁に設けられた開口部に方位別に使用するサッシによる空気伝搬音の遮断の過程」が、透過損失等級で表されている。

(2)評価の基準

日本住宅性能表示基準(平成13年国土交通省告示第1346号)に従って表示すべき住宅の性能に関する評価の方法の基準が、平成13年国土交通省告示第1347号に定められている。その中で、「8-4透過損失等級(外壁開口部)(3)評価基準」で以下の通り示されている。

(イ)等級3: サッシ及びドアセットが、次の①又は②のいずれかに該当するもの。

①JIS A 4706(ドアセットにあってはA 4702)に規定する試験方法により確かめられた透過損失の平均値(ただし、1/3オクターブバンドで100Hzから2,500Hzにおける測定値の平均とする。)が、25dB以上であるもの。

②JIS A 4706に規定するサッシ又はJIS A 4702に規定するドアセットで、その遮音等級がT-4、T-3又はT-2に区分され表示されたもの。

(ロ)等級2: サッシ及びドアセットが、次の①又は②のいずれかに該当するもの。

①JIS A 4706(ドアセットにあってはA 4702)に規定する試験方法により確かめられた透過損失の平均値(ただし、1/3オクターブバンドで100Hzから2,500Hzにおける測定値の平均とする。)が、20dB以上であるもの。

②JIS A 4706に規定するサッシ又はJIS A 4702に規定するドアセットで、その遮音等級がT-1、T-3又はT-2又はT-1に区分され表示されたもの。

[平成13年国土交通省告示第1346号の抜粋]

表示事項	表示	項目・等級の説明
透過損失等級(外壁開口部)	等級3	特に優れた空気伝搬音の遮断性能(JISのRM(1/3) - 25相当以上)が確保されている程度
	等級2	優れた空気伝搬音の遮断性能(JISのRM(1/3) - 20相当以上)が確保されている程度
	等級1	その他

注) 各方位毎に設置されるサッシの透過損失のうち、最も低いものを確認する。
注) 「RM(1/3)」とは、JIS A 1419-1に規定する1/3オクターブバンド測定による平均音響透過損失をいう。

断熱性

断熱性とは

断熱性とは、熱が移動するのをどれくらい抑えることができるかを表す性能です。
また、熱の移動が少ないことを断熱性が高いといいます。
熱は、高温側から低温側に移動し、両側が同じ温度になったとき、移動が停止します。
建築物でいえば、天井、壁、床などの材料の中でも熱を通しやすいものと通しにくいものがあり、これらの材料の選択によって熱移動を最小限に抑えることが大切です。
快適な住生活のために用いられる冷房や暖房の熱は、外気との間にある窓、壁、天井などを通して、対流、ふく射、伝導によって常に移動が行われています。その中でも窓からの熱の移動は、夏は約70%の割合で入り、冬は約50%の割合で流出すると言われ、窓を通しての移動が大きなウエイトを占めます。従って省エネルギー効果を高める上で、サッシの断熱性の向上は最も重要な要素となります。
サッシの断熱性能の測定は、実験による測定JIS A 4710（建具の断熱性試験方法）とJIS A 2102（窓及びドアの熱性能－熱貫流率の計算）による計算法があります。

断熱性の試験方法および性能

断熱性の試験方法

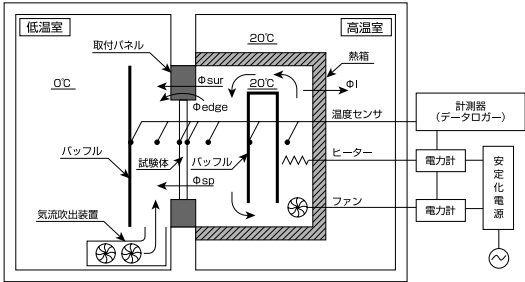
JIS A 4710（建具の断熱性試験方法）に、サッシ・ドアセットの断熱性試験方法が規定されています。

試験手順（概要）

- 1. 熱伝導率が既知の校正板を取付け、高温側と低温側の温度差（20±2）Kに設定します。
- 2. 合計表面熱伝達抵抗 $R_{s,t}$ が 0.17 ± 0.01 （ $m^2\cdot K/W$ ）となるようにファンとヒーターの出力（風量）を調整し、試験体以外からの通過熱量（ Φ_{sur} 、 Φ_{edge} ）を予め測定します。
- 3. 校正板と試験体を取り替え、ファンの出力を変えずにヒーターの出力調整により、高温側と低温側の温度差（20±2）Kの安定した状態となるようにします。
- 4. 次にファンとヒーターが供給熱量から、試験体以外からの通過熱量を減算し熱貫流率 U_m を求めます。
- 5. 最後に標準化熱貫流率 U_{st} を算出します。

$$U_{st} = \frac{1}{\frac{1}{U_m} - R_{s,t} + 0.17}$$

$R_{s,t}$ ：測定された合計表面熱伝達抵抗
（高温側及び低温側の表面熱伝達抵抗の和）
 U_m ：測定された試験体の熱貫流率



断熱性の等級と性能

断熱性にはJIS A 4702^{：2015}（ドアセット）、JIS A 4706^{：2015}（サッシ）の規定により右表の等級と性能（判定基準）が決められています。

熱貫流率とは

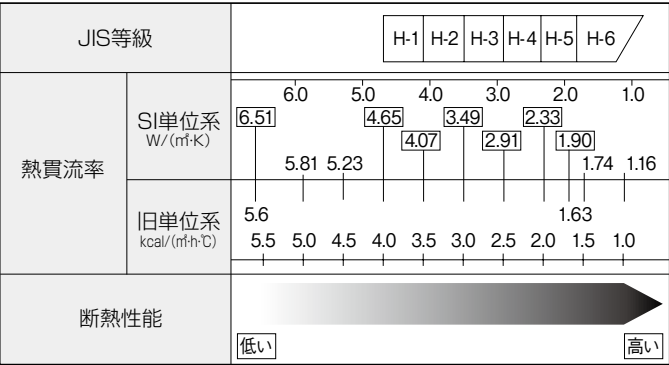
窓の内外の環境温度差が1℃あるときに、単位時間あたりに窓の面積1㎡を通過する熱量をワット（W）で表したものを「熱貫流率（U値）」といい、数値が小さいほど断熱性に優れていることを表します。単位は「W/（㎡・K）」です。

性能項目	等級	標準化（された）熱貫流率	判定基準
断熱性	H-1	4.65W/（㎡・K）	標準化（された）熱貫流率が等級との対応値以下でなければならない。
	H-2	4.07W/（㎡・K）	
	H-3	3.49W/（㎡・K）	
	H-4	2.91W/（㎡・K）	
	H-5	2.33W/（㎡・K）	
	H-6	1.90W/（㎡・K）	

K（ケルビン）は絶対温度を表す単位です。

選定の目安

サッシ・ドアセットの断熱性は、建築物の地域性・立地条件・居住環境により選定します。
選定の目安には、「省エネ法」に規定または推奨された開口部の断熱基準等がありますが、JIS等級では、等級が大きいほど断熱性が高いことを表します。



面内変形追随性 (対震性)

■面内変形追随性とは

面内変形追随性とは、地震などの外力により枠に変形が生じても戸の開放が可能であることを表す性能です。
面内変形追随性は、片開きドアセットの高さ寸法に対する上下枠の面内変位の割合で表します。

■面内変形追随性の等級

面内変形追随性には、JIS A 4702の規定により右表の等級が決められています。

等 級	D-1	D-2	D-3
面内変形角	1/300rad	1/150rad	1/120rad

耐風圧性

■耐風圧性とは

耐風圧性とは、サッシ・ドアセットがどれくらいの風圧に耐えられるかを表す性能です。台風などの強風によってサッシ・ドアセットが変形したり、ガラスが割れたり、また戸が脱落することなどがないようにするために非常に大切なことです。

耐風圧性とは、面積1㎡当たり、どれくらいの風圧に耐えられるかを基準とした等級で表し、風圧の単位はPaで表されます。

■耐風圧性の等級と性能

JIS A 4706・JIS A 4702に、耐風圧性による等級と性能(判定基準)が右表のように規定されています。

性能項目	等 級	等級との対応値	性 能
耐風圧性	S-1	最高圧力 800Pa	●加圧中、破壊のないこと。 ●スイングは、枠、無目、方立など、戸の周辺に接する部材において最大相対変位が15mm以下であること。 (中略) ●除圧後、開閉に異常がなく、使用上支障がないこと。
	S-2	1200Pa	
	S-3	1600Pa	
	S-4	2000Pa	
	S-5	2400Pa	
	S-6	2800Pa	
	S-7	3600Pa	

気密性

■気密性とは

気密性とは、サッシ・ドアセットの枠と戸のすきまから、どれくらいの空気(すきま風)がもれるかを、表す性能です。
冷暖房時の熱損失を少なくする、騒音の侵入を防ぐ、又、砂やほこりの侵入をおさえるために、気密性の高いサッシ・ドアセットが求められています。

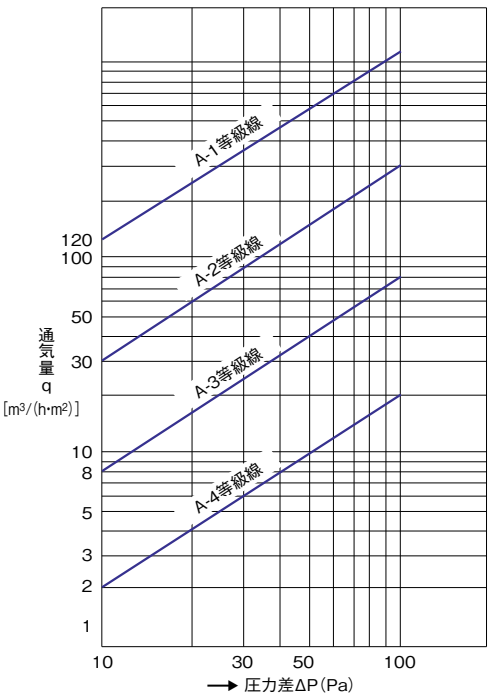
気密性は面積1㎡当たり1時間当たりどれくらいの空気がもれるかを基準とした等級で表し、空気のもれは $\text{m}^3/(\text{h} \cdot \text{m}^2)$ で表されます。

■気密性の等級と性能

JIS A 4706・JIS A 4702に気密性による等級と性能(判定基準)が下表のように規定されています。

性能項目	等 級	等級との対応値	性 能
気密性	A-1	気密性等級 A-1等級線 A-2等級線 A-3等級線 A-4等級線	該当する等級について、通気量が右図に規定する気密等級線を上回らないこと。
	A-2		
	A-3		
	A-4		
	A-4		

気密等級線



水密性

■水密性とは

水密性とは、雨を伴った風のときに雨水の浸入をどれくらいの風圧まで防げるかを表す性能です。
水密性は、サッシ・ドアセットが風雨にさらされた状態で面積1㎡当たり、どれくらいの風圧まで雨水の浸入を防げるかを基準とした等級で表し、風圧の単位はPaで表します。

■水密性の等級と性能

JIS A 4706・JIS A 4702に水密性による等級と性能（判定基準）が右表のように規定されています。

性能項目	等 級	等級との対応値	性 能
水密性	W-1	圧力差 100Pa	加圧中、次の状況が発生しないこと。 (a) 枠外への流れ出し (b) 枠外へのしぶき (c) 枠外へ吹出し (d) 枠外へのあふれ出し
	W-2	150Pa	
	W-3	250Pa	
	W-4	350Pa	
	W-5	500Pa	

遮煙性

■遮煙性とは

遮煙性とは、万が一の火災時に備え、煙による多大な被害を防ぐために必要とされる性能です。
特に、平成14年6月以降のエレベータ等の出入口は、遮煙性能があるドアやシャッター等で区画することが義務づけられました。
これは、エレベータの昇降路は縦方向に空間がつながっており煙突のような役割をなすことから、煙が他の階へ伝わることを防ぐ必要があるからです。

■遮煙性能の規定

遮煙性能は、国土交通大臣が定めた構造方法（例示仕様）を用いるか、国土交通大臣の認定を受ける必要があります。

《遮煙性能の規定》	
<div>国土交通大臣が定めた構造方法を用いるもの（昭和48年建設省告示第2564号）</div> <div>● 防火戸が枠又は他の防火設備と接する部分が相じゃくり、（中略）閉鎖した際にすき間が生じない構造（略）。</div>	<div>国土交通大臣の認定を受けるもの</div> <div>● 性能評価機関が定める業務方法書による遮煙性試験に合格し大臣認定を申請取得</div> <div>※要求性能は、建具内外の圧力差が19.6Paのとき、漏気量が0.2m³/m²・min以下であることが求められます。</div>

引用文献

BASIS わかりやすいサッシ・ドアの性能：（一社）日本サッシ協会

BX





■製品保証

保証期間

施工業者よりの引渡し日(注1、注2)から2年間とします。(電装部品については1年間)
また、修理・点検により部品交換した場合は、交換した部品に対して1年間とします。
(注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
(注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡し日とします。
(注3)ドアクローザや錠前の保証期間は、上記にかかわらず、別途定めた内容によります。

保証内容

取扱説明書、ラベルその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き、無料修理いたします。ただし、遠隔地や離島への出張修理の場合は交通に要する実費をいただく場合もあります。

なお、強風時に雨水が浸入することがありますが、この製品上の特性であり不具合ではありません。

免責事項

- ①天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、津波、地震、噴火、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合、またはこれらによって製品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
 - ②製品または部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗。木製品のそり、干割れ等)や経年劣化(樹脂部分の変質、変色など)、またはこれらに伴う錆、かび、またはその他の不具合
 - ③製品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食またはその他の不具合(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
 - ④自然現象や使用環境に起因する不具合(例えば、結露・凍結、風による振動・共鳴音など)
 - ⑤表示された製品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合(例えば、カタログなどに記載された耐風圧以上の風圧に起因するものなど)
 - ⑥建築躯体の変形など、製品以外に起因する製品の不具合
 - ⑦本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
 - ⑧当社の手配によらない加工、組立、施工(基礎工事、取付け工事、シーリング工事など)、管理、メンテナンスなどに起因する不具合(例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用した事による変色や腐食、工事中の養生不良による変色、腐食など)
 - ⑨お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部分の取外しを含む)に起因する不具合
 - ⑩引渡し後の操作誤り、整備不良または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
 - ⑪使用に伴う接触部分の摩耗・傷・塗装のはがれや時間経過による塗装の退色、樹脂部品の変質・変色、めっきの劣化またはこれらに伴う錆などの不具合
 - ⑫施工当時実用化されていた科学や技術、知識では予測することが不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合
 - ⑬犬、猫、鳥、ネズミ、昆虫、ゴキブリ、クモなどの小動物、またはつるや根などの植物に起因する不具合
 - ⑭機能上支障のない音、振動など感覚的現象
 - ⑮犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合
- ※次のような消耗品については有料となります。
- 気密材、モヘア、小口カバー、操作ツマミなどの合成樹脂部品
- ※保証期間経過後の修理、交換などは、有料とします。
- ※本記載によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、その他についてご不明な場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

■定期点検契約のおすすめ

末永く、安全にお使いいただくためには、定期点検と定期的な部品交換が必要です。定期点検契約をむすんでいただくことにより、専門家による点検と保守を行います。動作状態のチェックと給油、消耗部品の交換などを定期的に実施し、正常に動くよう入念に調整いたします。点検の記録は当社に保管し、お客様にそのつど報告いたします。機能低下や不慮の事故を防ぐ定期点検契約は、必要不可欠な製品の一部です。

修理・点検に関するお問い合わせは

☎ 0120-365-113

365日いいサービス

ご用命は

アットタイムサービスシステム



突然のシャッターや窓シャッターの故障。
そんな時は、文化シャッターサービス(株)の
ATSS=アットタイムサービスシステムを
ご利用ください。フリーダイヤルひとつで
365日素早く対応いたします。

No.734 初版CA993-5TP'11・01
第11版CA993-8TP'22・07

■お手入れ方法

●スチール、ステンレス、アルミ製品共通

- ・雨などにより、泥、ほこりなどが付着しますと錆の発生を早め、美観上からも好ましくありません。
- ・製品が汚れた場合は、ぬれた布などで汚れを落とした後、固く絞った布などで水分をふきとってください。
- ・水洗いで落ちない汚れは、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を使用したのち、水洗いし、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。
- ・なお、強風の際(特に台風の場合)は、塩分が内陸部まで飛来することがあるので、風が収まった後、できるだけ早い時期の清掃が必要です。

(注意事項)

- ・お手入れの際は、柔らかい布をご使用ください。
- ・製品へのキズを避けるため、金属ブラシ、たわし、みがき粉等の硬いものでこすらないでください。製品にキズが付くと、錆の原因となります。
- ・酸性またはアルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの有機溶剤は、変色や腐食の原因となりますので使用しないでください。

●お手入れ回数目安

(1年あたりの回数)

	海岸地帯	工業地帯	市街地	田園地帯
スチール(塗装品)	1~4	1~3	1~2	1
ステンレス(素地)	10~12	8~10	8~10	4~6
アルミ(クリア塗装)	1~4	1~3	1	1

回数はあくまでも目安なので、汚れの状況に応じて清掃回数を増やしてください。

●ステンレス部品の注意事項

- ・ステンレスは、錆びない素材と考えられがちですが、絶対に錆びない素材ではありません。通常、塗装など表面処理をしない状態で用いられますので、清掃も頻繁に必要です。
- ・初期の錆については、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を使用したのち、水洗いし、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。
- ・泥、ほこり、塩水、排気ガス中の有害成分、洗浄薬液、もちろん錆の付着は、ステンレス自身の錆に発展しますので、早めの清掃が必要です。

●スチール塗装品の再塗装

再塗装時期は、塗料種類や環境により異なりますが、3~7年に1度が適当です。

カタログの色は製品と多少異なる場合があります。製品改良のため予告なく仕様の変更をすることがあります。

